

平成25年度予算の概要



公立大学法人奈良県立医科大学



奈良県立医科大学の理念

(平成6年3月8日制定、最終改正：平成17年12月13日)

本学は、医学、看護学およびこれらの関連領域で活躍できる人材を育成するとともに、国際的に通用する高度の研究と医療を通じて、医学および看護学の発展を図り、地域社会さらには広く人類の福祉に寄与することを理念とする。

奈良県立医科大学の目的

(平成6年3月8日制定、最終改正：平成17年12月13日)

- 1 学部教育では、医学および看護学に関する基本的知識・技能および生命倫理・医の倫理を習得させるとともに、将来、臨床・研究・教育のいずれの分野でも活躍できる独創性・応用力と豊かな人間性を身につけた人材を育成する。
- 2 研究面では、医学、看護学およびこれらに関連する独創的・先端的研究を学際的・国際的に推進することを主眼とし、大学院では、研究・教育・臨床のいずれの領域においても指導者となり得る人材の育成を図るとともに各専門分野の高度の研究を推進する。
- 3 附属病院は、生涯に亘る臨床教育・研修の場であると同時に、奈良県のみならず我が国における指導的役割を果たす医療機関として、新しい社会的要請に対応できる体制を確立するとともに、先進的・高度医療を担う。

目次

平成25年度予算のあらまし

1. 平成25年度予算の規模	1
2. 収入予算の概要	2
3. 支出予算の概要	3
4. 主な収入・支出の推移	4
5. 平成25年度部門別予算(大学)	6
6. 平成25年度部門別予算(病院)	7

平成25年度組織の整備	8
-------------	---

平成25年度予算の主要事業・新規事業	9
--------------------	---

平成25年度予算編成方針	10
--------------	----

平成25年度予算の内容

I 地域貢献

地域貢献予算の概要(第2期中期計画 I 地域貢献)	13
1-1. 医療人の育成(医師関連)	14
医師派遣システムの適切な実行	14
1-2. 医療人の育成(看護師関連)	15
2. 看護師の地域貢献	15
3. 研究成果等の地域への還元	16
4. 健康増進の県民アプローチの充実	16
5. 断らない救急医療体制の整備	17
6. 周産期医療体制の強化	17
7. 他の医療機関との連携強化	18
8. 県内医療人への助言・指導	19

II 教育

教育予算の概要(第2期中期計画 II 教育)	21
1. リベラルアーツ教育の実践	21
①リベラルアーツ教育の充実	21
②学生支援体制の充実	22
③医学科の教育にかかる経費	22
④看護学科の教育にかかる経費	23
⑤学生の確保にかかる経費	23
⑥附属図書館の運営及びその他教育の運営に関する経費	23
2. 教育内容の評価	24
3. 老朽・狭隘施設への対策	24
①キャンパス移転計画の推進	24
②老朽化した施設の改修	24

Ⅲ 研究

研究予算の概要(第2期中期計画 Ⅲ研究)	26
1. 研究の適切な成果評価	26
2. 有能な研究者の獲得	27
3. 健康・予防医療等研究範囲の拡大	28
①研究範囲の拡大	28
②産学官連携の推進	28
③研究に必要な資金の確保	29
④寄附講座の設置	29
⑤国内外との連携	30
4. 研究環境の改善	30
①キャンパス移転計画の推進	30
②その他研究環境の改善	31

Ⅳ 診療

診療予算の概要(第2期中期計画 Ⅳ診療)	33
附属病院の概要	33
附属病院の主要指標	34
1. 医師・看護師等の離職防止と人材確保	35
2. がん拠点病院としての機能の充実	36
3. 治療成績の一層の向上	37
①治療成績の一層の向上に向けて	37
②高度で先進的な医療の提供及び提供体制の充実	37
③病院運営に必要な経費	37
4. 患者満足の一層の向上	38
①患者満足の向上に向けて	38
②医療の安全確保	39
5. 老朽・狭隘施設への対策	40

Ⅴ まちづくり

まちづくり予算の概要(第2期中期計画 Ⅴまちづくり)	42
1. 教育・研究部門の円滑な移転と新キャンパス整備	42
2. 地域に開かれたキャンパスづくり	43
3. 教育・研究部門等移転後の跡地活用	43
4. 移転を契機とした研究分野での地域貢献	44
5. 健康づくり・予防医療等への貢献	44

Ⅵ 法人運営

法人運営予算の概要(第2期中期計画 Ⅵ法人運営)	46
1. ガバナンス体制の充実強化	46
①ガバナンス体制の充実強化	46
②法人の円滑な運営	48
2. ワークライフバランスの充実強化	48
3. 同窓会・歴代卒業生との連携	49
4. 繰越欠損金の解消	49

平成25年度予算のあらまし

1. 平成25年度予算の規模

平成25年度予算 400億3,900万円

(教員研究費繰越分 1億1,330万円除く)

【前年度比 +37億2,548万円 +10.3%】

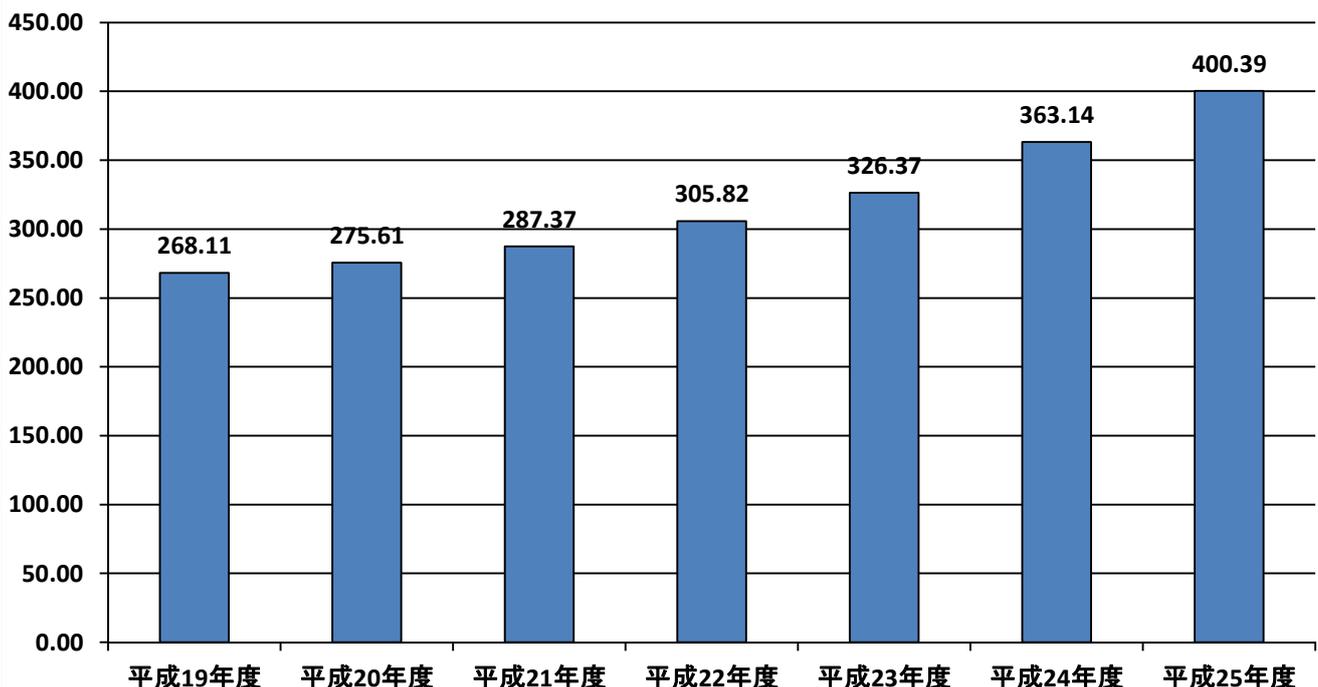
(※24年度予算 363億1,352万円)

予算規模が大幅な増となった要因

- ・(仮称)中央手術棟整備の第1期竣工に向けた建設費及び医療機器購入費の増
- ・病院収入の伸びとそれに連動した医薬品費、診療材料費の増
- ・看護職員の確保、医療技術職員の増員、診療助教の増員などによる人件費の増

予算規模の推移

億円

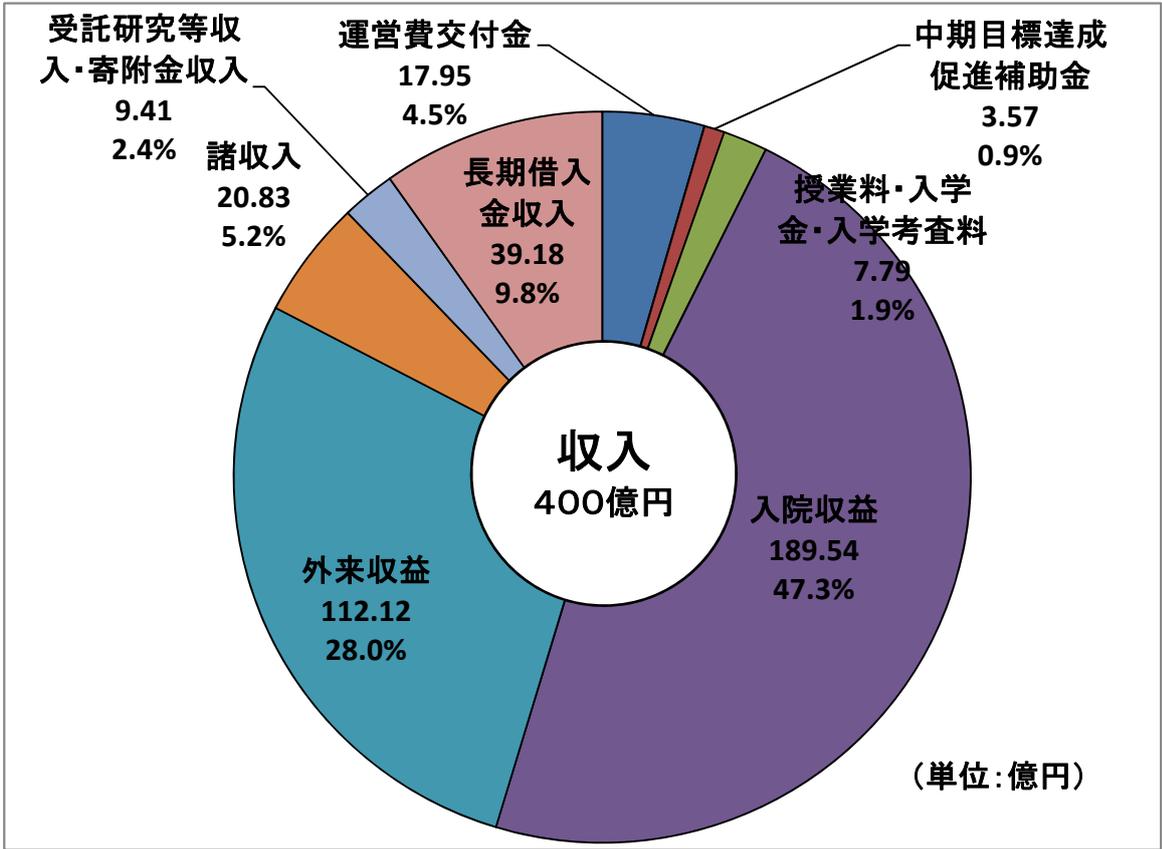


2. 収入予算の概要

(千円)

区 分	25予算		24予算		25-24	
	A	(構成比)	B	(構成比)	A-B	(増減率)
運営費交付金	1,794,600	(4.5%)	1,210,460	(3.3%)	584,140	(48.3%)
中期目標達成促進補助金 (24は政策医療推進費補助金)	357,000	(0.9%)	394,000	(1.1%)	△ 37,000	(△9.4%)
自己収入	33,028,400	(82.5%)	31,051,117	(85.6%)	1,977,283	(6.4%)
授業料・入学金・入学考査料	779,000	(1.9%)	745,812	(2.1%)	33,188	(4.4%)
入院収益	18,954,000	(47.3%)	18,202,000	(50.2%)	752,000	(4.1%)
外来収益	11,212,000	(28.0%)	11,046,000	(30.4%)	166,000	(1.5%)
諸収入	2,083,400	(5.2%)	1,057,305	(2.9%)	1,026,095	(97.0%)
受託研究等収入・寄附金収入	941,000	(2.4%)	809,043	(2.2%)	131,957	(16.3%)
長期借入金収入	3,918,000	(9.8%)	2,848,900	(7.8%)	1,069,100	(37.5%)
合計	40,039,000		36,313,520		3,725,480	(10.3%)

(※教員研究費繰越財源分 1億1,330万円除く)

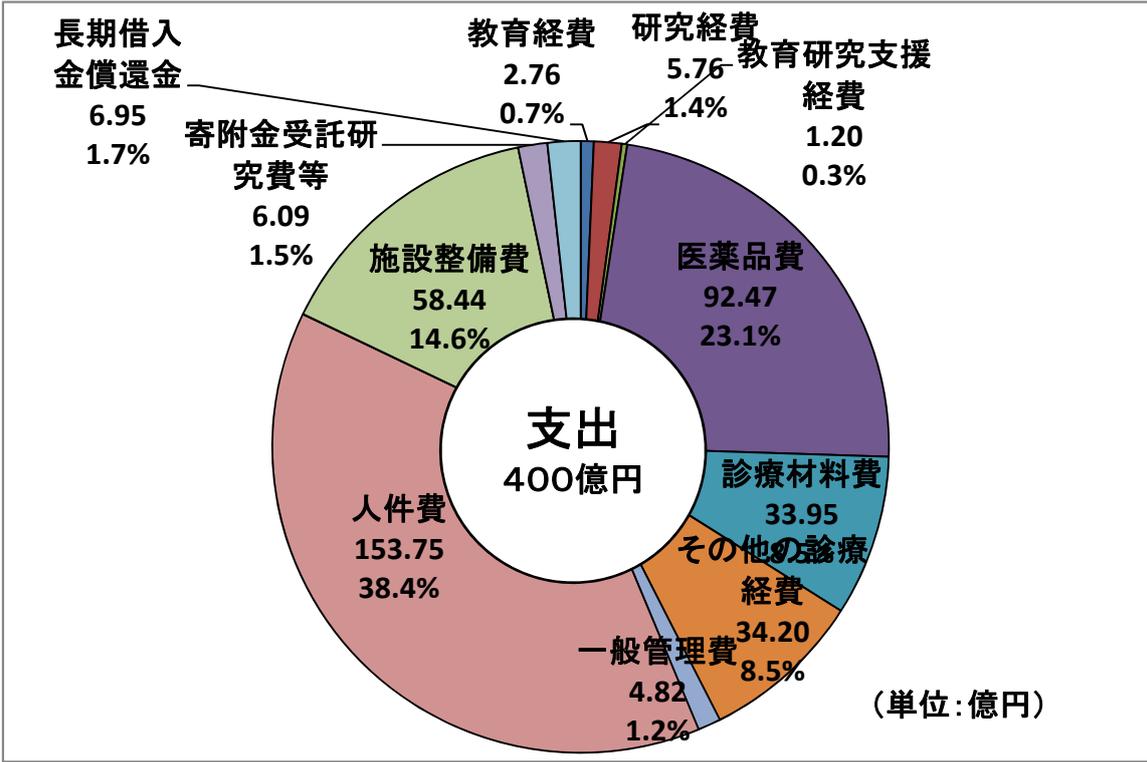


3. 支出予算の概要

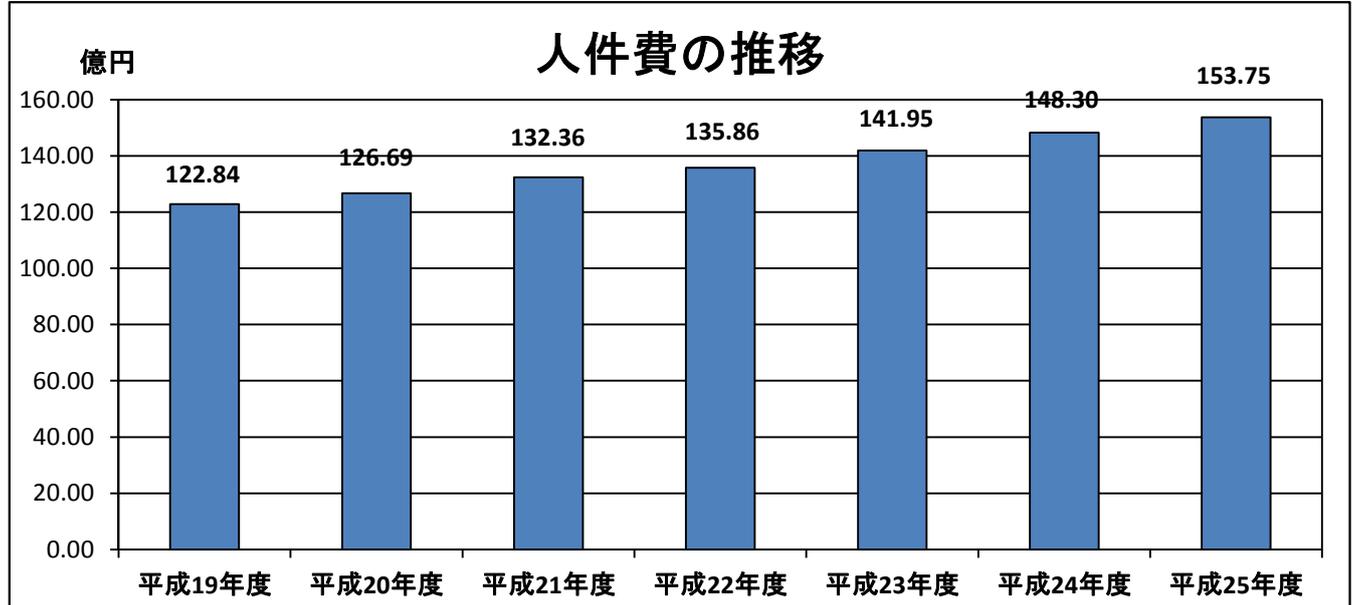
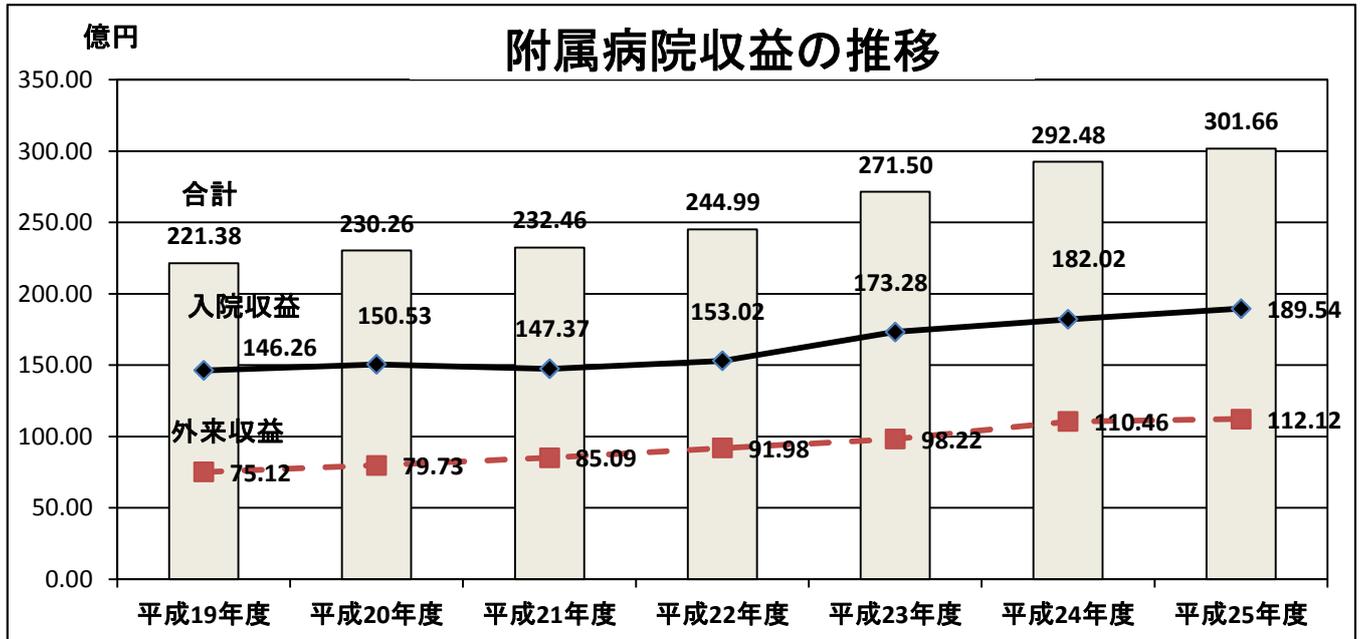
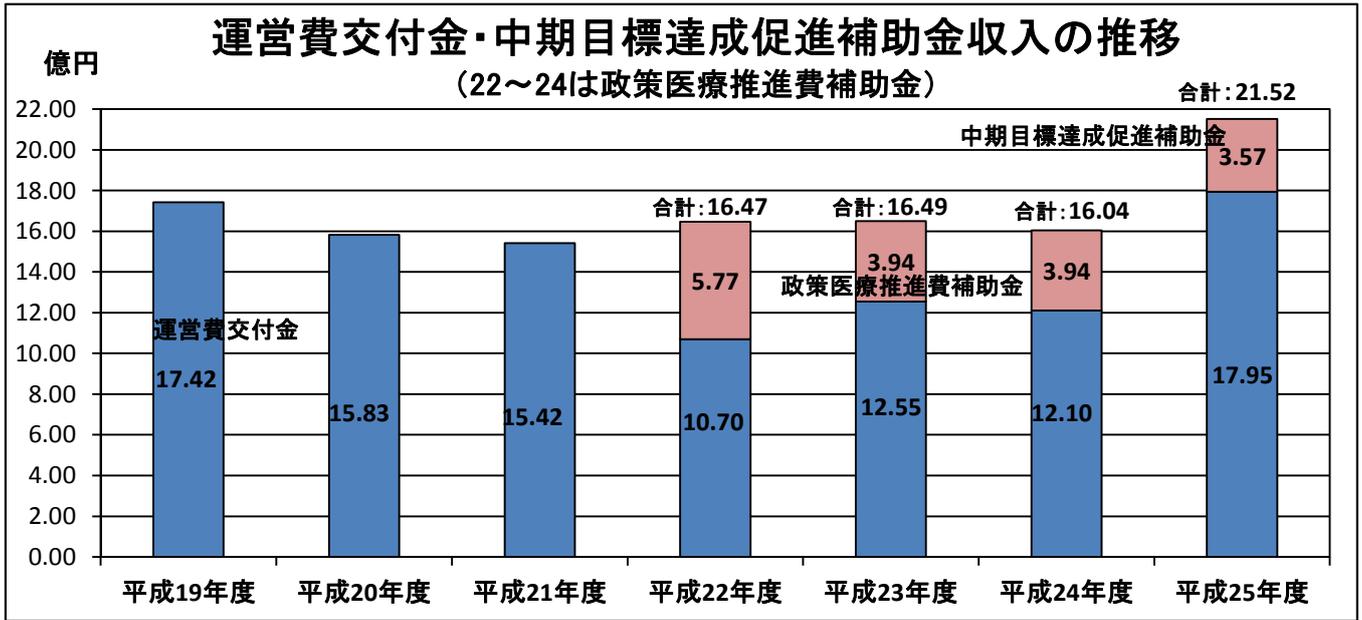
(千円)

区分	25予算		24予算		25-24	
	A	(構成比)	B	(構成比)	A-B	(増減率)
教育研究経費	971,600	(2.4%)	1,019,427	(2.8%)	△ 47,827	(△4.7%)
教育経費	275,700	(0.7%)	281,744	(0.8%)	△ 6,044	(△2.1%)
研究経費	576,400	(1.4%)	605,856	(1.7%)	△ 29,456	(△4.9%)
教育研究支援経費	119,500	(0.3%)	131,827	(0.3%)	△ 12,327	(△9.4%)
診療経費	16,062,200	(40.1%)	15,322,618	(42.3%)	739,582	(4.8%)
医薬品費	9,247,000	(23.1%)	8,980,000	(24.7%)	267,000	(3.0%)
診療材料費	3,395,000	(8.5%)	3,215,000	(8.9%)	180,000	(5.6%)
その他の経費	3,420,200	(8.5%)	3,127,618	(8.7%)	292,582	(9.4%)
一般管理費	482,100	(1.2%)	432,332	(1.2%)	49,768	(11.5%)
人件費	15,375,300	(38.4%)	14,829,799	(40.8%)	545,501	(3.7%)
施設整備費	5,843,700	(14.6%)	3,600,684	(9.9%)	2,243,016	(62.3%)
寄附金受託研究費等	608,700	(1.5%)	517,072	(1.4%)	91,628	(17.7%)
長期借入金償還金	695,400	(1.7%)	591,588	(1.6%)	103,812	(17.5%)
支出合計	40,039,000		36,313,520		3,725,480	(10.3%)

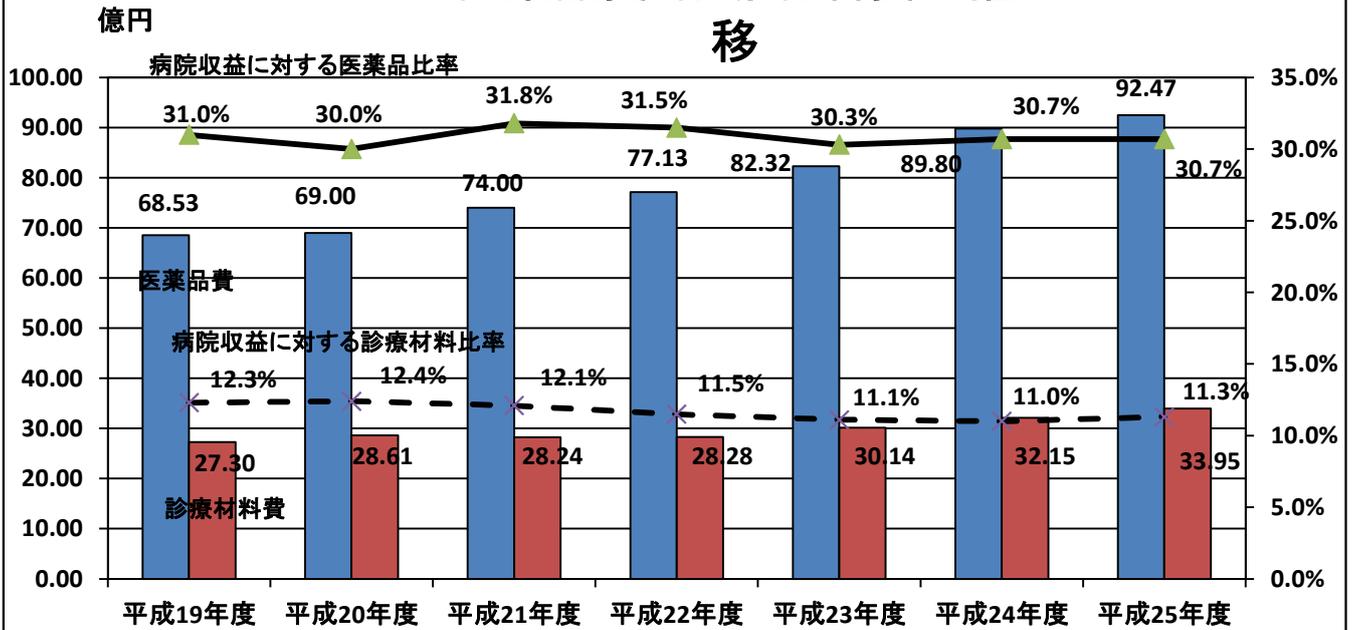
(※教員研究費繰越分 1億1,330万円除く)



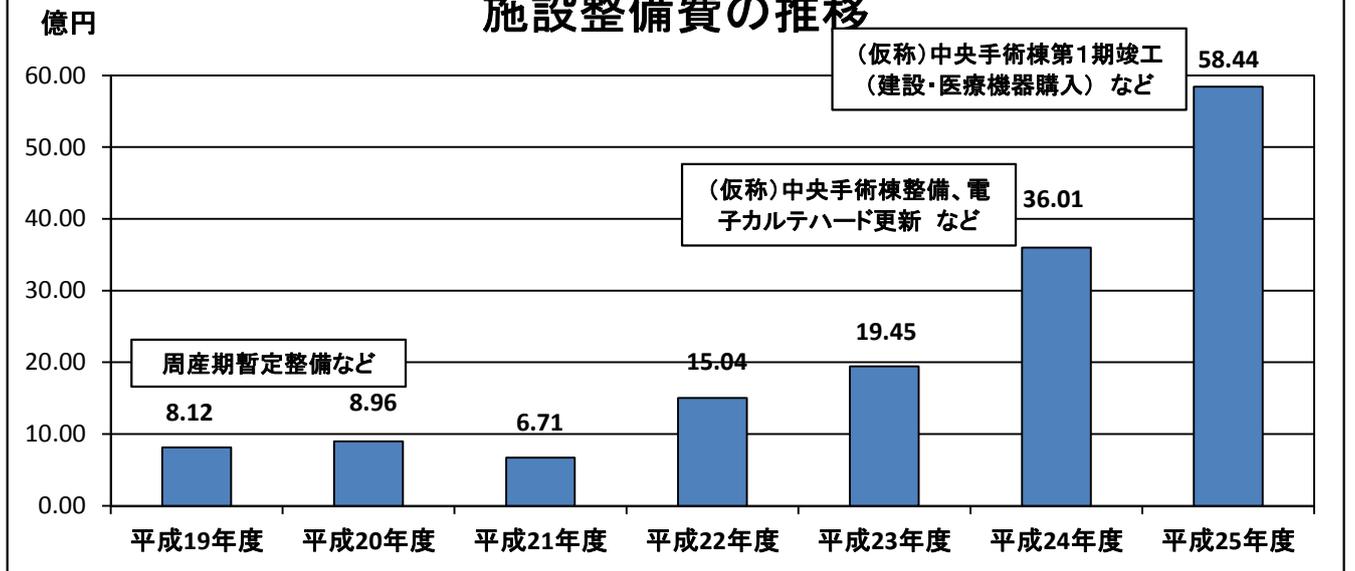
4. 主な収入・支出の推移



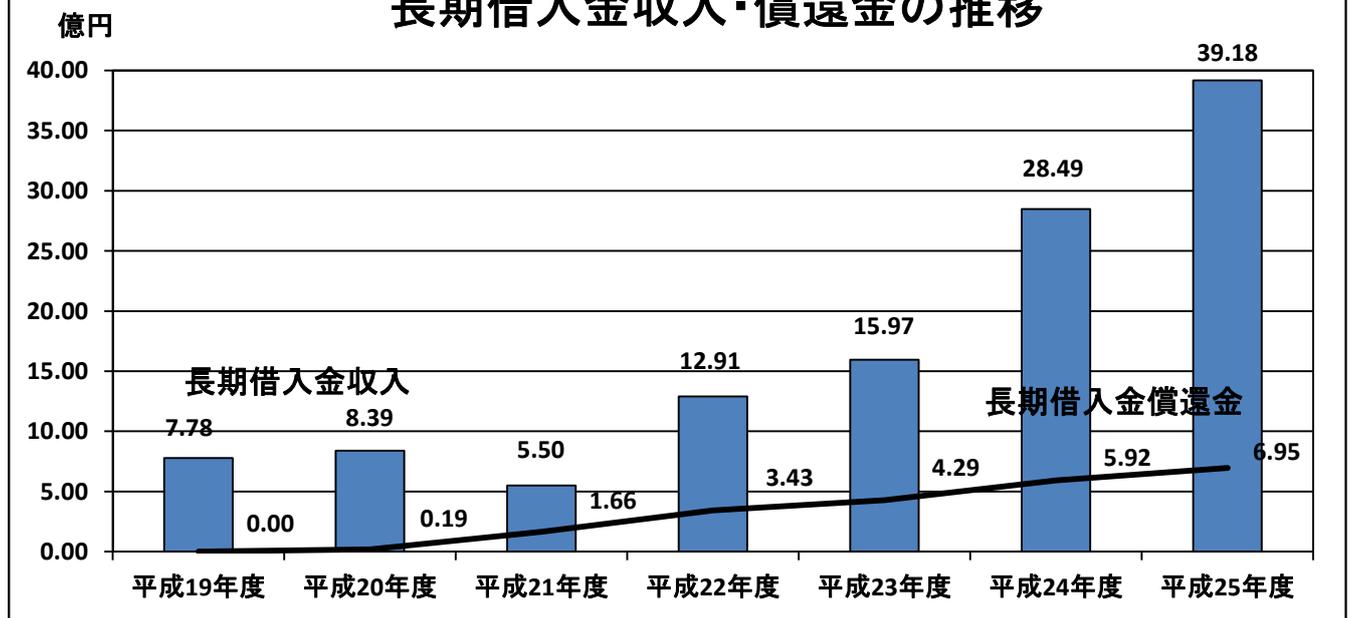
医薬品費・診療材料費の推移



施設整備費の推移



長期借入金収入・償還金の推移



5. 平成25年度部門別予算（大学）

（収入）

（千円）

区 分	25予算 A	24予算 B	25-24 A-B
運営費交付金	1,536,600	877,460	659,140
中期目標達成促進補助金	8,100	0	8,100
自己収入	973,700	967,663	6,037
授業料・入学金・入学考査料	779,000	745,812	33,188
授業料	621,600	603,400	18,200
検定料収入	41,400	29,502	11,898
入学金	116,000	112,910	3,090
諸収入	194,700	221,851	△ 27,151
補助金収益	67,000	102,858	△ 35,858
手数料等収入	10,100	10,118	△ 18
財産貸付料	800	809	△ 9
専修生、研究生受講料	16,100	18,168	△ 2,068
科学研究費（間接経費）	78,000	66,889	11,111
その他	22,700	23,009	△ 309
受託研究等収入・寄附金収入	778,200	682,552	95,648
寄附金収益	565,400	512,414	52,986
受託研究等収益	212,800	170,138	42,662
収入合計	3,296,600	2,527,675	768,925

（※教員研究費繰越財源分 1億1,330万円除く）

（支出）

区 分	25予算 A	24予算 B	25-24 A-B
教育経費 計	275,700	281,744	△ 6,044
学生教育関係費	132,300	149,453	△ 17,153
学生支援関係費	16,900	22,031	△ 5,131
教育管理費	61,500	59,646	1,854
系統病理解剖関係費	8,500	7,664	836
入試関係費	28,300	25,350	2,950
奨学費	28,200	17,600	10,600
研究経費 計	576,400	605,856	△ 29,456
教育研究関係費	71,400	86,981	△ 15,581
研究管理費	183,000	166,940	16,060
総合研究施設運営関係費	93,700	84,468	9,232
教員研究関係費	204,900	247,400	△ 42,500
科学研究費補助金（間接経費）	23,400	20,067	3,333
教育研究支援経費 計	119,500	131,827	△ 12,327
図書館運営費	71,100	83,163	△ 12,063
図書館管理費	7,200	6,696	504
奈良医学雑誌刊行費	1,300	1,268	32
教育研究支援経費	39,900	40,700	△ 800
一般管理費	63,000	62,774	226
教育関係人件費	1,976,200	1,877,955	98,245
一般管理人件費	903,700	757,591	146,109
施設整備経費	155,500	156,327	△ 827
寄附金受託研究費等	507,000	437,612	69,388
支出合計	4,577,000	4,311,686	265,314

（※教員研究費繰越分 1億1,330万円除く）

収支差	△ 1,280,400	△ 1,784,011	503,611
-----	-------------	-------------	---------

6. 平成25年度部門別予算（病院）

（収入）

（千円）

区 分	25予算 A	24予算 B	25-24 A-B
運営費交付金	258,000	333,000	△ 75,000
中期目標達成促進補助金(24は政策医療推進費補助金)	348,900	394,000	△ 45,100
自己収入	32,054,700	30,083,454	1,971,246
附属病院収入	30,166,000	29,248,000	918,000
入院収益	18,954,000	18,202,000	752,000
外来収益	11,212,000	11,046,000	166,000
諸収入	1,888,700	835,454	1,053,246
附属病院医業外収益	152,500	136,905	15,595
補助金収益	1,639,900	627,872	1,012,028
財産貸付料	23,300	23,919	△ 619
その他	73,000	46,758	26,242
受託研究等収入・寄附金収入	162,800	126,491	36,309
寄附金収益	3,200	2,800	400
受託研究等収益	159,600	123,691	35,909
長期借入金収入	3,918,000	2,848,900	1,069,100
医療用機器整備	1,000,000	650,000	350,000
新棟整備(建築費)	1,743,200	1,006,000	737,200
新棟整備(医療機器整備)	941,000	0	941,000
アメニティ向上整備	50,000	50,000	0
新棟関連アメニティ	183,800	142,900	40,900
電子カルテ	0	1,000,000	△ 1,000,000
収入合計	36,742,400	33,785,845	2,956,555

（支出）

区 分	25予算 A	24予算 B	25-24 A-B
診療経費計	16,062,200	15,322,618	739,582
医薬品費	9,247,000	8,980,000	267,000
診療材料費	3,395,000	3,215,000	180,000
その他病院運営費	2,223,700	1,964,974	258,726
病院管理費(光熱水費・庁舎管理)	887,500	843,244	44,256
その他病院管理費	88,900	83,064	5,836
総合医療情報システム運営経費	211,000	227,321	△ 16,321
指導経費	9,100	9,015	85
一般管理費	419,100	369,558	49,542
診療関係人件費	12,495,400	12,194,253	301,147
施設整備経費	5,688,200	3,444,357	2,243,843
寄附金受託研究費等	101,700	79,460	22,240
長期借入金償還金	695,400	591,588	103,812
支出合計	35,462,000	32,001,834	3,460,166
収支差	1,280,400	1,784,011	△ 503,611

平成25年度組織の整備

職の新設

1. 「法人特命企画官」の新設

○中期計画の着実な推進や20年後のトップ10入りを目指すための取組みの構築など理事長の特命事項を処理する「法人特命企画官」を設置

組織の新設

1. 危機管理室の設置（副理事長直轄）

○第2期中期目標・中期計画を着実に実行していくために業務遂行過程で発生する様々なリスクに対処する必要があり、法人として総合的にリスクマネジメントを行うため危機管理室を設置

2. 医療メディエーション室の設置（病院経営部内）

○医療に関するトラブルの適正かつ早期解決を図るためメディエーション室を設置し、患者満足度の向上に加え病院職員にとって安全安心な職場環境を構築

※参考

正規職員の推移

（単位：人、百万円）

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25予算
教育職	340	353	346	344	359	354	355
事務職	97	96	96	105	121	126	132
医療技術職	140	152	157	169	196	224	247
看護職	654	655	746	821	846	879	929
技能労務職	42	41	32	19	17	12	3
合計	1,273	1,297	1,377	1,458	1,539	1,595	1,666
前年度との増減数	—	24	80	81	81	56	71
人件費（退職手当除く）	9,805	9,570	10,310	10,791	11,427	11,622	11,900

※人員数については各年度4月1日現在、人件費についてはH19～H23は決算額、H24は決算見込である

◆平成25年度予算の主要事業・新規事業

教育・研究



○ **地域医療学講座事業** 45,000千円(④75,000千円)
県からの交付金を財源に講座を設置し、地域医療に関する研究を実施

新 大和漢方医学薬学センター開設準備事業 1,000千円
産学官連携による漢方医学の研究等、奈良の産物を生かし、地域に役立つ独自性のある研究を推進

○ **研究医養成コースの運営** 17,600千円(④5,900千円)
研究医養成コースの研究発表会実施にかかる経費等を計上

新 学生生活実態調査の実施 500千円
学生生活の向上のためアンケート形式の調査を実施

○ 教育環境の充実

- ・医学科 45,100千円(④49,166千円)
- ・看護学科 25,200千円(④23,965千円)
- ・大学院 14,100千円(④12,798千円)

授業運営の経費や老朽化備品の更新など教育環境の充実に必要な経費を引き続き計上

○ **学生アメニティ向上事業** 13,600千円(④17,000千円)
学生が利用する学内施設設備等の整備や課外活動の支援など、学生生活の向上を図る

○ **附属図書館の充実** 6,100千円(④18,500千円)
閲覧室の机イスのリニューアルや貸出用パソコンの更新など附属図書館の機能充実を図る

新 特別研究活動助成事業 10,000千円
大学全体の研究活動の一層の活性化を図るため、全学的・横断的に取り組む共同研究を支援

新 若手研究者研究活動助成事業 5,000千円
優れた研究を行っている若手研究者に対し、さらなる研究の発展を支援

○ **大型研究用備品の更新** 78,000千円(④78,000千円)
総合研究棟に設置されている大型共用研究備品が老朽化しているため、整備計画に基づき、年次的に更新

○ **医学科講座研究費** 264,700千円(④218,612千円)
○ **看護学科教員研究費** 18,800千円(④14,607千円)
※前年度からの繰越分 113,300千円含む

地域貢献



新 (仮称) 県立医大医師派遣センターの設立準備

新 (仮称) 県費奨学生配置センターの設立準備
県内の医師派遣システム構築のため、上記センターの設立を準備

新 (仮称) 看護実践・キャリア支援センターの設立準備
看護師の県内病院等への定着率向上のため、上記センターの設立を準備

新 中期計画各センターの設立準備 25,000千円
上記を含め、中期目標に掲げられた各センター・委員会の設立準備経費

法人運営



○ **女性研究者支援センターの運営** 31,100千円(④32,680千円)
女性研究者が研究を継続・発展させ、キャリアアップを図ることができる環境整備

○ **保育所運営の充実** 57,300千円(④42,730千円)
「なかよし保育園」の定員増を図り、保育ニーズに対応

○ **看護師確保対策** 140,000千円(④32,628千円)
看護師採用内定者に対して、就職支度金を貸与する制度を導入するなど、引き続き看護師確保に向けた取組を継続

○ **職員研修の充実** 22,400千円(④19,681千円)
職員研修の体系化を図り、内部研修を充実させるとともに、高い専門性を有した職員を育成するため、認定看護師資格取得など積極的に研修・学会等へ派遣

○ **情報システム整備事業** 15,900千円
学内LANの基幹ネットワーク機器の更新、情報セキュリティの強化

新 (仮称) 長期ビジョン策定事業 300千円
法人の今後十数年を見通した長期ビジョンと財務見通しを策定

新 大学機関別認証評価の受審 5,500千円
学校教育法で7年以内ごとの受審が義務づけられている大学機関別認証評価を平成25年度に受審

診療



○ **新棟整備事業** 2,506,600千円(④1,412,450千円)
中南和地域における高度医療拠点病院として機能充実を図るため、新棟を整備(平成25年度に第1期工事竣工)

新 新棟用備品の整備 1,650,000千円
新棟第1期竣工に合わせ、リニアック等を購入(県からの交付金・長期借入金等を財源)

新 旧救急棟改修事業 44,100千円
新棟整備により移転する腫瘍センター(外来化学療法室)の跡地を改修

○ **新棟整備関連アメニティ整備** 184,000千円(④142,907千円)
通路棟の改修、看護師宿舎改修(スキルスラブ等の整備)

○ **患者アメニティ向上事業** 50,000千円(④50,000千円)
病院玄関の屋根・照明改修、BC棟廊下改修

○ **院内緑化推進事業** 6,000千円
院内緑化のための観賞植物の賃借の経費(企業等の協賛金を財源)

新 ニューステロップ配信事業 2,000千円
患者の診察待ち時間の不満解消のため、各外来診察室前の待合でリアルタイムのニュースをテロップとして配信

新 地域医療連携支援システム導入費 10,000千円
現行システムについて保守期間が満了するため、新たな地域医療連携にかかるシステムを充実・更新

○ **医療用備品の整備** 1,147,000千円(④796,000千円)
県からの長期借入金等を財源とし、医療用備品整備枠を確保
※今年度: 備品購入枠10億円
前年度: 備品購入枠6億5千万円+リース契約枠3億5千万円

まちづくり



新 大学移転推進事業 27,000千円
新キャンパスへの移転計画の推進、老朽化施設の整備コンストラクション・マネジメント業務委託

平成25年度予算編成方針

1. 予算編成を通じて目指すもの

先端性・国際性

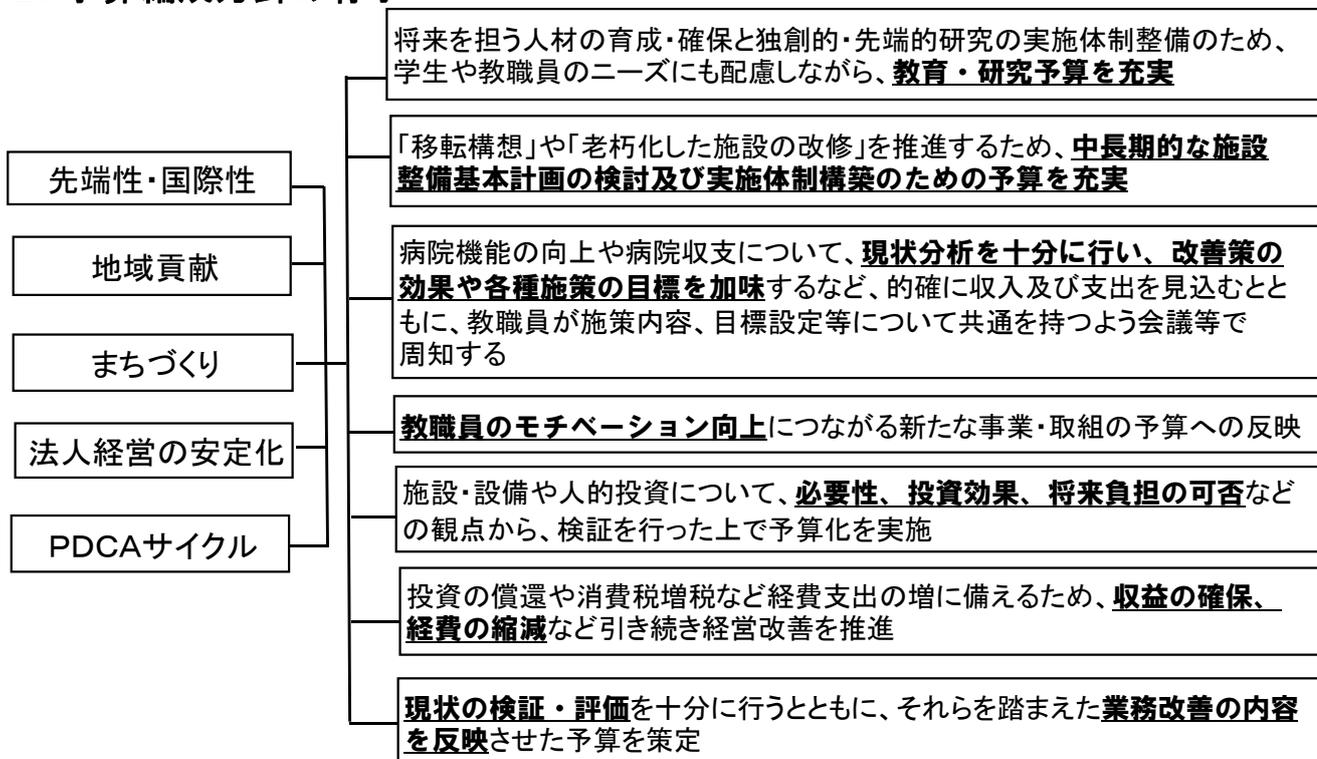
20年後の「全国医学部医科大学のトップ10」入りを目指すため、「独創性・応用力」と「豊かな人間性」を身につけた人材の育成・確保と「独創的・先端的研究」を「国際的・学際的」に推進、発展させることが必要。

地域貢献

平成25年度から始まる第2期中期目標については、現在県において策定中であるが、従来の「教育」「研究」「診療」「法人運営」の各分野に加えて、「地域貢献」「まちづくり」が新たな柱として明確に位置づけられる予定。

**第2期中期計画の初年度であることを踏まえ、
先端性・国際性と地域貢献を両立(=glocalization)させた
法人運営を実現するための予算編成を目指す。**

2. 予算編成方針の骨子



上記重点方針の具体的議論と方針を強化するため、予算編成業務の適正化・重点化を実施

平成25年度予算の内容



I 地 域 貢 献



地域貢献予算の概要

第2期中期計画 | 地域貢献

1 医療人の育成（医師関連）

- 教養教育等を通じ奈良への愛着、県内の地域医療に対する意識を涵養するとともに、(仮称)県立医大医師派遣センターを設置・運営し、県内への高い就職率を確保する。
- (仮称)県費奨学生配置センターを設置し、県等との連携のもと、医師派遣システムを構築することにより、地域に必要な医師配置の実現に積極的に寄与する。

医療人の育成（看護師関連）

- (仮称)看護実践・キャリア支援センターを設置・運営する等、看護学生の就労支援を行い、県内就職率の向上に努める。

2 看護師の地域貢献

- 認定看護師・専門看護師を増やすとともに、附属病院看護部と看護学科が協働・連携する体制を構築し、看護職員等の教育・研修プログラム及びキャリア支援を充実させることにより、地域の看護師のレベルアップを目指す。

3 研究成果等の地域への還元

- 住居医学講座や(仮称)大和漢方医学薬学センター、スポーツ医学講座等を核として産学官連携による研究推進に取り組む。

4 健康増進の県民アプローチの充実

- 市町村や県が実施している健康増進事業に協力するとともに、予防医学や健康づくりの適切な情報や研究成果を提供することにより地域住民のセルフケアを支援する。

5 断らない救急医療体制の整備

- 県内の救急医療に関する諸機関の連携体制のもと、重篤な救急患者の受入を中心に、病院全体として断らない救急医療の実現に取り組む。

6 周産期医療体制の強化

- 総合周産期母子医療センターの機能充実と施設間ネットワークとの連携を図ることにより母体・新生児搬送受入率100%を目指すとともに、周産期医療を担い推進する人材(新生児科医、産科医、小児科医、小児外科医、助産師、看護師等)を養成する。

7 他の医療機関との連携強化

- 各種地域医療連携パス、退院調整の効果的な運用、地域医療連携連絡協議会の活性化、連携登録医制度の導入による逆紹介等の促進により、地域医療連携をより一層推進する。また、基幹型認知症疾患医療センター、中核的な緩和ケアセンターを設置・運営する。

8 県内医療人への助言・指導

- 県・市町村医師会や県看護協会と協働して、最新技術・情報を学べる研修やスキルスラボ実習を企画・実施するとともに、メーリングリスト等を活用した情報発信を行い、県内医療人のレベルアップに貢献する。

1-1. 医療人の育成（医師関連）

医師派遣システムの適切な実行 （（仮称）県立医大医師派遣センターの設置・運営）

平成25年度 年度計画

- (1)（仮称）県立医大医師派遣センターの設置に向けて体制や運営方法を検討し、年度内の設置をめざす。
- (2)南和地域公立病院等への医師配置支援のために当該病院等の実態やニーズの把握を行う。
- (3)奈良のことを学ぶ教育講座の開設を検討し、学生の奈良への愛着と貢献意識の醸成を図る。

事業名	内容	予算額 (千円)
(新) 中期計画調査検討事業	中期目標に掲げられた下記センター等の設立準備経費 （仮称）県立医大医師派遣センター （仮称）県費奨学生配置センター	10,000
地域医療学講座事業費	県からの補助金を財源に、地域医療に関する研究を行う講座を設置(人件費及び研究費)	45,000
医学科非常勤講師報酬の一部	(新)「教養特別講義」を開設し、奈良の歴史等について講義	150
地域医療教育支援事業	県内で地域医療に従事しようとする医師を確保するため、メンター実習等を推進	3,600

医師派遣システムの適切な実行 （（仮称）県費奨学生配置センターの設置・運営）

平成25年度 年度計画

- (1)（仮称）県費奨学生配置センターの設置に向けて体制や運営方法を検討し、年度内の設置をめざす。
- (2)南和地域公立病院等県内の医療実態とニーズを県と連携して把握し、県費奨学生の配置先を決定する。
- (3)県費奨学生のキャリアパスを構築しその適用に努めるとともに、地域に貢献(地域に配置)する医師を育成する。

事業名	内容	予算額 (千円)
(新) 中期計画調査検討事業 (再掲)	中期目標に掲げられた下記センター等の設立準備経費 （仮称）県立医大医師派遣センター （仮称）県費奨学生配置センター	10,000
地域医療学講座事業費(再掲)	県からの補助金を財源に、地域医療に関する研究を行う講座を設置(人件費及び研究費)	45,000

1-2. 医療人の育成（看護師関連）

平成25年度 年度計画

- (1) (仮称)看護実践・キャリア支援センター設置に向け、他府県の先行事例を調査するとともに、法人内に検討委員会を設置し、センターの概要を決定する。
- (2) 看護学科学生に対する奨学金制度の創設に向け、県との協議を行う。

事業名	内容	予算額 (千円)
(新) 中期計画調査検討事業 (再掲)	中期目標に掲げられた下記センター等の設立準備経費 (仮称)看護実践・キャリア支援センター	10,000
看護師確保事業	メールマガジンやポータルサイトの活用など情報発信を充実させるとともに、現場若手看護師の力を活用した学校訪問、附属病院説明会・見学会の開催、合同就職説明会への出展などを実施	9,000
新規採用看護師宿舍確保事業	新規採用者を対象に、敷地外に法人がワンルームマンションを借り上げ、看護師専用宿舍を確保	26,000
(新) 看護師就職支度金貸与事業	附属病院への就職が内定している看護師に対し、就職準備や自己研鑽等に必要な経費を貸与(一定期間勤務により返還免除) (※平成24年度執行対応)	105,000

2. 看護師の地域貢献

平成25年度 年度計画

- (1) 看護師のキャリア支援のため、認定看護師養成研修に引き続き派遣することにより、認定看護師の増加を図る。
- (2) 看護学研究科へのCNSコース設置を含め、専門看護師育成の検討を行う。
- (3) 看護職員の看護能力アップのため、新たな教育・研修基本計画を作成するとともに、専門知識及び能力養成のための研修プログラムの充実を図る。
- (4) 病院看護部、大学看護学科、看護協会が看護職員の教育環境や教育内容、就労環境の向上等について情報交換会を開催し、地域看護の充実を図るための協議を実施する。
- (5) スキルスラボの整備及び運営の準備を行うとともに、(仮称)看護実践・キャリア支援センターの設置について検討する。

事業名	内容	予算額 (千円)
看護師研修の実施	専門的な看護能力向上のため、認定看護管理者、認定看護師教育課程への派遣、先進病院への派遣などを実施	14,800
看護師宿舍の改修	改修により旧看護師宿舍を有効活用し、スキルスラボや関連施設などを整備	115,000

3. 研究成果等の地域への還元

平成25年度 年度計画

- (1) (仮称) 研究推進戦略本部を設置し、研究活動に係る基本方針を策定する。
- (2) (仮称) 研究推進戦略本部での検討結果を踏まえ、研究に関する第三者評価を行うための評価委員会を設置する。
- (3) (仮称) 研究推進戦略本部での検討結果を踏まえ、(仮称) 大和漢方医学薬学センターを設置する。
- (4) (仮称) 研究推進戦略本部での検討結果を踏まえ、リビングサイエンスについての方向性・実効性等を検討する。

		(千円)
事業名・講座名	内容	予算額
(新) 中期計画調査検討事業 (再掲)	中期目標に掲げられた下記センター等の設立準備経費 (仮称) 大和漢方医学薬学センター 研究に関する第三者評価を行うための評価委員会	10,000
(新) スポーツ医学講座	寄附者 : 学校法人栗岡学園 設置目的: スポーツ障害における病態の解明、有用な治療法の開発 設置期間: 平成25年度～30年度(6年間) 寄附総額: 1億2,000万円	20,000
住居医学講座	寄附者 : 大和ハウス工業株式会社 設置目的: ～住まいを医学する～をキャッチフレーズに、生活習慣病予防のため、「衣食住」のうち「住」について医学的にアプローチ 設置期間: 平成18年度～25年度(当初6年間から2年間延長) 寄附総額: 6億円	30,000

4. 健康増進の県民アプローチの充実

平成25年度 年度計画

- (1) 県民の健康増進を支援するための体制づくりの検討を行う。
- (2) 健康増進に関する県民のニーズを把握し、ニーズに応じた公開講座を開催する。
- (3) (仮称) 研究推進戦略本部での検討結果を踏まえ、医大を中心としたまちづくり構想と連携・調整を図りながら、既に提案されている「MBT構想」、「健康長寿コホート研究」等の方向性・実効性等について検討する。

		(千円)
事業名	内容	予算額
公開講座事業	「くらしと医学」をテーマに、広く県民を対象に講座を開催 日程: 平成25年9月、平成26年3月(予定) 場所: 榎原文化会館大ホール、なら100年会館大ホール	1,200
(新) かしはら健康サポーター養成講座開催事業	習得した健康知識を地域において普及・啓発する「健康サポーター」を養成する講座を榎原市と共同で実施	100

5. 断らない救急医療体制の整備

平成25年度 年度計画

- (1)救急患者の受入体制の再構築及び救急搬送コーディネート機能等を検討する委員会を設置する。
 検討項目
 ①重篤な救急患者等をスムーズに受け入れるための院内体制の再構築
 ②県内救急搬送コーディネート機能の支援
 ③救急患者の後方連携
 ④医師等医療従事者の負担軽減対策
- (2)・高度救急医療を担う医師、看護師等の確保に努める。
 ・専門医や認定看護師の養成を図る。

事業名	内容	予算額 (千円)
高度救命救急センターへの県からの支援	高度救命救急センターの運営に対し、中期目標達成促進補助金として県から支援	145,000
看護師研修の実施(再掲)	専門的な看護能力向上のため、認定看護管理者、認定看護師教育課程への派遣、先進病院への派遣などを実施	14,800

6. 周産期医療体制の強化

平成25年度 年度計画

- (1)リスクの高い妊婦に対する医療や高度な新生児医療等の周産期医療を担う本院総合周産期母子医療センターの円滑な運営を行う。
 MFICU 6床 同後方病床 12床 NICU 許可 21床(運用 18床) GCU 12床
- (2)周産期医療に関わる施設間ネットワークのもと、母体・新生児搬送コーディネートを行う産科医・新生児科医の確保・増員に努める。
- (3)・産科、小児科に進む県費奨学生に提示する適切なキャリアパスを地域医療学講座とともに検討する。
 ・周産期医療従事者等への研修会を開催する。
 新生児蘇生法講習会
 長期療養児在宅看護研修会

事業名	内容	予算額 (千円)
総合周産期母子医療センターへの県からの支援	総合周産期母子医療センターの運営に対し、中期目標達成促進補助金として県から支援	117,000
新生児蘇生・救急講習会実施事業	新生児蘇生・救急講習会を実施し、センター所属の全ての医療従事者に受講させるとともに、県内分娩施設の職員に対する講習指導者を養成	300

7. 他の医療機関との連携強化

平成25年度 年度計画

- (1) 連携登録医制度の導入、予約診療等の拡充により逆紹介等の促進を図る。
- (2) 退院調整の効果的運用と地域医療連携パスの運用件数の増加を図る。
- (3) 現在の緩和ケアセンターの更なる充実を行うとともに、本県緩和ケア提供体制の中で、中核的な緩和ケアセンターとしての役割を果たすべく稼働する。
- (4) 地域医療機関と連携して認知症高齢者受け入れのための基幹型認知症疾患医療センターの設置に向けての検討・協議を行う。
- (5) 地域の医療従事者等を対象にした研修会の開催や情報発信の現状を把握し、促進方策を検討する。
 - 現状把握項目
 - ① 各種拠点病院・認定施設として行う研修会
 - ② 院外にオープンな病院主催研修会
 - ③ 病院独自で行う医療情報の発信
 地域医療連携を推進する地域医療連携懇話会については年1回以上開催する。

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 中期計画調査検討事業 (再掲)	中期目標に掲げられた下記センター等の設立準備経費 基幹型認知症疾患医療センター 中核的な緩和ケアセンター	10,000
地域医療連携事業	初診紹介患者予約診療、退院調整チームによる転退院調整、地域医療連携パスの実施、地域医療連携連絡協議会及び懇話会の開催、地域医療連携室だよりの発行など	2,000
(新) 地域医療連携支援システム 充実事業	現行システムについて保守期間が満了するため、新たな地域医療連携にかかるシステムを充実・更新	10,000
都道府県がん診療連携拠点病院 関連経費	がん診療における県の中心的な役割を果たすため、がん診療連携協議会、がん相談、院内がん登録などの諸事業を実施(がん診療連携拠点病院機能強化事業の内数)	3,428
緩和ケアの充実	がん性疼痛緩和推進事業公開講座、在宅緩和ケア地域連携事業研修会、まほろばPEACE緩和ケア研修会などの開催経費及び緩和ケアセンター整備経費	3,072
がん専門医臨床研修事業関連経費	若手医師をがん専門医師として育成するための研修を実施	1,500

8. 県内医療人への助言・指導

平成25年度 年度計画

(1) 地域の医療従事者等を対象にした研修会の開催や情報発信の現状を把握し、促進方策を検討する。

現状把握項目

- ① 各種拠点病院・認定施設として行う研修会
- ② 院外にオープンな病院主催研修会
- ③ 病院独自で行う医療情報の発信

地域医療連携を推進する地域医療連携懇話会については年1回以上開催する。(再掲 I-7)

(2) 医学教育、看護教育、医師卒後臨床研修及び病院医療技術職員等の研修の場として、臨床技術習得のための実習が行えるスキルスラボの整備を行うとともに、運営の準備を行う。

(千円)

事業名	内容	予算額
地域医療連携事業(再掲)	初診紹介患者予約診療、退院調整チームによる転退院調整、地域医療連携バスの実施、地域医療連携連絡協議会及び懇話会の開催、地域医療連携室だよりの発行など	2,000
看護師宿舎の改修(再掲)	改修により旧看護師宿舎を有効活用し、スキルスラボや関連施設などを整備	115,000

Ⅱ 教 育



教育予算の概要

第2期中期計画 II 教育

1 リベラルアーツ教育の実践 医の心をもった医療人の育成 医療経営に関する教育の確保

○カリキュラムの見直し・再構築を行い、医療人にふさわしい教養や倫理観を培うリベラルアーツ教育、および国際感覚、実践的英語能力等の習得を目的とした幅広い教育を強化する。

2 教育内容の評価

○教員の教育力向上のためのFD(Faculty Development)活動の活性化および教員と学生の双方向性の授業評価システムを構築することにより、講義・実習・研修内容の充実を図る。

3 老朽・狭隘施設への対策

○新キャンパスへの教育・研究部門の移転計画を積極的に推進する。

1. リベラルアーツ教育の実践

1. リベラルアーツ教育の充実

平成25年度 年度計画

- (1) 外部委員の選定および委任を行い、一般教育検討委員会の構成員を決定のうえ、検討委員会を設置し、カリキュラム編成に向けた検討を行う。
- (2) 大学院の運営委員会および課程委員会において医科学専攻医療経営学科目の設置に向けた検討を行う。

事業名	内容	予算額
(新) 中期計画調査検討事業 (再掲)	中期目標に掲げられた下記センター等の設立準備経費 一般教育検討委員会	10,000

2. 学生支援体制の充実

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 教務事務システムの運営	事務の迅速化や学生サービスを向上させるため平成24年度に導入した教務事務システムの運用を開始	4,200
学生アメニティ向上事業	学生生活の向上を図るため、学生ホールの机・椅子の更新、課外活動への支援などを実施	13,600
看護学科棟1・2階トイレ改修工事	便器の洋式化、電灯を人感センサー式にすることにより省エネ化を図るなど、老朽化したトイレを改修	10,000
(新) 学生生活実態調査	学生生活向上のため、アンケート形式の調査を実施 (前回平成22年度実施)	500
授業料減免事業	経済的に困窮した学生を支援するため、授業料の減免事業を実施	13,000
学生カウンセリング事業	専門のカウンセラーにより、学業、生活、将来等に対する学生の悩み、相談等に対応	1,000

3. 医学科の教育にかかる経費

(千円)

事業名	内容	予算額
医学科・医学研究科教育関係諸費	医学科・医学研究科の教育及び運営に必要な経費を計上	12,000
医学科学生実験実習費	医学科の実験・実習等の教育に必要な経費を計上	28,600
大学院医学研究科教育充実関係諸費	大学院医学研究科の教育に必要な経費を計上	11,400
医学科設備・備品等更新事業	教育環境の充実のため、実習室等の設備を更新	4,500
研究医養成コースの運営	基礎医学・社会医学研究者の養成を図るために設置した研究医養成コースの運営にかかる経費 (対象者に奨学金を貸与)	17,600
医学科教育関係講師謝礼	医学科の非常勤講師の報酬、交通費	27,400
共用試験実施事業	共用試験(OSCE及びCBT)の実施に要する経費	3,800
解剖関係諸費	系統解剖等の実施に必要な経費	8,500

4. 看護学科の教育にかかる経費

(千円)

事業名	内容	予算額
看護学科・看護学研究科教育関係諸費	看護学科・看護学研究科の教育及び運営に必要な経費を計上	16,000
看護学科学生実験実習費	看護学科の実験・実習等の教育に必要な経費を計上	5,600
大学院看護学研究科教育充実関係事業	大学院看護学研究科の教育に必要な経費を計上	1,900
看護学科設備・備品等更新事業	教育環境の充実のため、大型実習備品等を更新	3,600
看護学科教育関係講師謝礼	看護学科の非常勤講師の報酬、交通費	4,000

5. 学生の確保にかかる経費

(千円)

事業名	内容	予算額
アドミッション広報事業	オープンキャンパスの開催、学生による奈良医大PR隊や教職員によるアドミッション広報、高大連携の実施に必要な経費	1,000
入試関係費	医学科・看護学科の入学試験実施に必要な経費	20,900
大学入試センター試験関係費	大学入試センター試験の実施に必要な経費	4,000

6. 附属図書館の運営及びその他教育の運営に関する経費

(千円)

事業名	内容	予算額
附属図書館運営事業	電子ジャーナル、図書の購入など附属図書館の運営に要する経費(うち科研費間接費充当額 10,000千円)	65,000
附属図書館の充実	附属図書館の機能充実を図るため、閲覧室の机・椅子の更新、貸出用パソコンの追加購入などを実施	6,100
大学連携の推進	協定を締結している早稲田大学や同志社女子大学との連携講座等の実施に必要な経費	3,900
教育開発センター運営費	教育開発センターの運営に必要な経費	3,700

2. 教育内容の評価

平成25年度 年度計画

- (1) 双方向の授業評価システムを構築のうえ、評価を実施し、結果の分析、活用を行う。
- (2) 学生アンケート調査の方法・内容の検討及び学生の聞き取り調査を実施する。
- (3) 適正な評価ルールと表彰制度の内容を検討する。
- (4) 教員を対象とした研修会を実施し、研修結果を分析・評価する。

		(千円)
事業名	内容	予算額
FD関係諸費	教員の授業評価や教育フォーラム、コンソーシアム(単位互換)、学生アンケートの実施等に必要経費	2,000

3. 老朽・狭隘施設への対策

1. キャンパス移転計画の推進

平成25年度 年度計画

- (1) 教育・研究部門等移転対策検討委員会を県と合同で設置し、移転に向けた調査・検討を行うとともに、新キャンパス整備基本構想を策定する。
- (2) 基本構想を策定するにあたり、教育・研究部門移転整備責任者を選定し、医大独自で調査・検討を実施するとともに、医大内部の合意形成を図る。

		(千円)
事業名	内容	予算額
(新) 中期計画調査検討事業 (再掲)	中期目標に掲げられた下記センター等の設立準備経費 教育・研究部門等移転対策検討委員会	10,000
(新) 医科大学・附属病院整備基本構想策定事業	新キャンパスマスタープランの見直し業務委託 (大学移転推進事業の一部)	7,000

2. 老朽化した施設の改修

		(千円)
工事名	内容	予算額
臨床第1講義室空調機更新	設置後31年が経過し、故障が頻発している空調機を更新	11,000
看護学科棟1・2階トイレ改修(再掲)	便器の洋式化、電灯を人感センサー式にすることにより省エネ化を図るなど、老朽化したトイレを改修	10,000

Ⅲ 研 究



研究予算の概要

第2期中期計画 III 研究

1 研究の適切な成果評価

○研究に関する外部有識者を含む自己評価委員会を設置・運営するとともに、教室主任に研究目標の明確化を求め、達成状況を自己評価させ、極めて高い研究業績をあげた者に対する顕彰制度を新設する。

2 有能な研究者の獲得

○研究医養成コースの充実に加え、学内共同研究プロジェクトや若手研究者への支援制度の充実等により、基礎医学・社会医学・臨床医学の研究を推進する高度な知識・能力と意欲を持つ研究人材を育成し、大学全体の研究競争力を高める。

3 健康・予防医療等研究範囲の拡大

○OMBT構想や奈良県健康長寿コホートスタディ等について計画・推進し、住民の健康増進に貢献するリビングサイエンスを推進する。

4 研究環境の改善

○新キャンパスへの教育・研究部門の移転計画を積極的に推進する。(再掲: II-3)

1. 研究の適切な成果評価

平成25年度 年度計画

- (1) (仮称)研究推進戦略本部を設置し、研究活動に係る基本方針を策定する。(再掲: I-3)
- (2) (仮称)研究推進戦略本部での検討結果を踏まえ、研究に関する第三者評価を行うための評価委員会を設置する。(再掲: I-3)

		(千円)
事業名・講座名	内容	予算額
(新) 中期計画調査検討事業 (再掲)	中期目標に掲げられた下記センター等の設立準備経費 研究に関する第三者評価を行うための評価委員会	10,000

2. 有能な研究者の獲得

平成25年度 年度計画

- (1) (仮称)研究推進戦略本部を設置し、研究活動に係る基本方針を策定する。(再掲 I - 3)
- (2) 研究医枠制度の柔軟な運用策と研究室配属の充実策を検討する。
- (3) (仮称)研究推進戦略本部での検討結果を踏まえ、研究助教制度の設置に向けた検討を行う。
学内共同研究プロジェクトや若手研究者への独自の助成制度を新設・実施する。
- (4) (仮称)研究推進戦略本部での検討結果を踏まえ、「女性研究者支援センター」の効果検証と平成26年度以降の組織のあり方について関係部署と協議・検討を行う。

(千円)

事業名	内容	予算額
研究医養成コースの運営(再掲)	基礎医学・社会医学研究者の養成を図るために設置した研究医養成コースの運営にかかる経費 (対象者に奨学金を貸与)	17,600
起動特別資金事業 (スターターズファンド)	基礎医学及び先端医学研究機構等の教授を戦略的に獲得するため、優遇制度の適用を受けた新任教授が着任する教室等に対し、起動特別資金を配分 配分額:5,000千円(着任後1年以内)	5,000
(新)特別研究活動助成事業	大学全体の研究活動の一層の活性化を図るため、全学的・横断的に取り組む共同研究を支援 予算内で原則2課題、2年間助成	10,000
(新)若手研究者研究活動助成事業	優れた研究を行っている若手研究者に対し、更なる研究の発展を支援 予算内で原則10課題、1年間助成	5,000
若手研究者への支援	若手の国際学会発表の機会を増大させ、国際的に活躍できる人材の育成のため、渡航費の一部を支援 原則8人助成	800
女性研究者研究活動支援事業	女性研究者が研究を継続・発展させ、キャリアアップを図ることができる環境整備を実施(女性研究者支援センターの運営費)	31,100
女性研究者への支援	優れた研究を行っている女性研究者の表彰を行い、研究意欲を高め、将来を担う優秀な女性研究者を育成 (女性研究者研究活動支援事業の内数)	(350)
世界・全国レベルの研究者による講演会	世界レベル・全国レベルの講演者を招へいし、本学全体の研究レベルの向上につながるテーマを選定し、講演会を開催(総合研究棟開設20周年事業も兼ねて実施) 開催日:平成25年5月13日(月) 講演者:大阪大学免疫学フロンティア研究センター 拠点長 審良 静男先生	1,000
特別講演事業	教室の枠を超えた全学的な範疇にわたる内容について、ハイレベルな学外からの情報知識を得ることにより、本学の学術研究のレベルアップを図る	1,050

3. 健康・予防医療等研究範囲の拡大

1. 研究範囲の拡大

平成25年度 年度計画

(1) (仮称)研究推進戦略本部を設置し、研究活動に係る基本方針を策定する。(再掲: I-3)

(2) (仮称)研究推進戦略本部での検討結果を踏まえ、リビングサイエンスについての方向性・実効性等を検討する。(再掲: I-3)

(3) (仮称)研究推進戦略本部での検討結果を踏まえ、医大を中心としたまちづくり構想と連携・調整を図りながら、既に提案されている「MBT構想」、「健康長寿コホート研究」等の方向性・実効性等について検討する。(再掲: I-4)

講座名	内容	(千円) 予算額
(新)スポーツ医学講座(再掲)	スポーツ障害における病態の解明、有用な治療法の開発	20,000
住居医学講座(再掲)	～住まいを医学する～をキャッチフレーズに、生活習慣病予防のため、「衣食住」のうち「住」について医学的にアプローチ	30,000

2. 産学官連携の推進

事業名	内容	(千円) 予算額
産学官連携活動事業	産学官連携推進センター特任教授の配置、知的マネジメント委託、シーズ出展など産学官連携に必要な経費	22,550
知的財産管理事業	本学の研究成果として生み出された知的財産の権利を確保し、産学官連携に有効活用するための管理経費	6,000
研究情報発信事業	本学の研究シーズ、ニーズをホームページ及び冊子により情報発信	3,000
(新)大和漢方医学薬学センター開設準備事業	産学官連携による漢方医学の研究等、奈良の産物を生かし、地域に役立つ独自性のある研究を推進	1,000

3. 研究に必要な資金の確保

(千円)

事業名	内容	予算額
科研費申請支援事業	応募に関する講習会の開催や申請書の作成指導など応募申請に対する支援を実施	700
科学研究費補助事業	科学研究費間接費のうち、研究者使用分	23,400
医学科教員研究関係諸費	医学科講座研究費及び学会人当旅費 (繰越分 105, 200千円を含む)	270,400
看護学科教員研究関係諸費	看護学科教員研究費及び学会人当旅費 (繰越分 8, 100千円を含む)	19,400

4. 寄附講座の設置

(千円)

講座名	内容	予算額
(新)スポーツ医学講座(再掲)	寄附者 : 学校法人栗岡学園 設置目的: スポーツ障害における病態の解明、有用な治療法の開発 設置期間: 平成25年度～30年度(6年間) 寄附総額: 1億2,000万円	20,000
住居医学講座(再掲)	寄附者 : 大和ハウス工業株式会社 設置目的: ～住まいを医学する～をキャッチフレーズに、生活習慣病予防のため、「衣食住」のうち「住」について医学的にアプローチ 設置期間: 平成18年度～25年度(当初6年間から2年間延長) 寄附総額: 6億円	30,000
血栓制御医学講座	寄附者 : バイエル薬品株式会社 設置目的: 止血及び病的血栓形成のメカニズム解明、その制御(治療と予防) 設置期間: 平成21年度～26年度(6年間) 寄附総額: 1億8,750万円	30,000
血圧制御学講座	寄附者 : MSD株式会社 設置目的: 血圧における食塩と高血圧発症の影響を検討 設置期間: 平成22年度～27年度(6年間)(当初3年間から3年間延長) 寄附総額: 1億2,000万円	20,000
人工関節・骨軟骨再生医学講座	寄附者 : 京セラメディカル株式会社 設置目的: 人工関節及び人工骨頭材料の臨床研究、新しい人工関節材料と細胞治療を用いた再生医学との融合による有用な方法の開発 設置期間: 平成23年度～25年度(3年間) 寄附総額: 7,500万円	25,000

5. 国内外との連携

国際交流協定大学

大学名	締結年月
チェンマイ大学(タイ)	平成8年8月
福建医科大学(中国)	平成16年12月
オックスフォード大学(イギリス)	平成20年4月
ルール大学(ドイツ)	平成22年4月

国内協定大学

大学名	締結年月
同志社女子大学	平成19年6月
早稲田大学	平成20年12月
奈良先端科学技術大学院大学	平成21年3月

(千円)

事業名	内容	予算額
国際交流事業	交流協定を締結した海外の大学との研究者及び学生の派遣、受入に必要な経費	1,800
ゲストハウス維持管理費	海外からの研究者などを受け入れるゲストハウスの維持管理に必要な経費	600
大学連携の推進(再掲)	本学の協定校である早稲田大学及び同志社女子大学との連携事業に要する経費	3,900
協定大学交流事業	学術交流に関する包括協定を締結している国内の大学との共同シンポジウム開催、院内コンサート招へいなどの交流を実施	300
(新) 早稲田大学協定締結5周年記念事業	早稲田大学との連携協力協定締結5周年を記念し、更なる連携協力を推進するため、記念講演等を実施	1,000

4. 研究環境の改善

1. キャンパス移転計画の推進

平成25年度 年度計画

- (1) 教育・研究部門等移転対策検討委員会を県と合同で設置し、移転に向けた調査・検討を行うとともに、新キャンパス整備基本構想を策定する。(再掲: II-3)
- (2) 基本構想を策定するにあたり、教育・研究部門移転整備責任者を選定し、医大独自で調査・検討を実施するとともに、医大内部の合意形成を図る。(再掲: II-3)

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 中期計画調査検討事業 (再掲)	中期目標に掲げられた下記センター等の設立準備経費 教育・研究部門等移転対策検討委員会	10,000
(新) 医科大学・附属病院整備基本構想策定事業(再掲)	新キャンパスマスタープランの見直し業務委託 (大学移転推進事業の一部)	7,000

2. その他研究環境の改善

(千円)

事業名	内容	予算額
総合研究施設運営関係費	総合研究棟の管理・運営にかかる委託費及び消耗品費や修繕費など総合研究施設運営に必要な経費	97,200
大型備品の整備	総合研究棟に設置されている共用研究備品が老朽化しているため、整備計画に基づき、年次的に更新	13,000
大型研究用備品の更新	総合研究棟に設置されている大型共用研究備品が老朽化しているため、整備計画に基づき、年次的に更新	65,000
総合研究棟外壁補修	外壁のタイルが浮き上がり、剥がれて落下する危険があるため、補修を実施	20,000

IV 診 療



診療予算の概要

第2期中期計画 IV 診療

1 医師・看護師等の離職防止と人材確保

○医師・看護師等の適正な増員と配置及び短時間正規労働制度の導入等によるワークライフバランスの改善を図るとともに学内保育園の充実と利用の促進により、女性医師・看護師等の就職促進と離職防止を図る。

2 がん拠点病院としての機能の充実

○都道府県がん診療連携拠点病院にふさわしい医療体制を構築するとともに、高度先進的な施設・機器を整備することにより、充実したがん治療を実施し、生存率の向上を目指す。

3 治療成績の一層の向上

○(仮称)診療内容向上委員会を設置・運営するとともに、医大版臨床指標(Clinical Indicator)を定めて、診療の質と量に対する現状分析を行い、治療成績の一層の向上を図る。

4 患者満足の一層の向上

○医療人のホスピタリティマインドの醸成及び患者の意見、要望を反映させた病院運営を行い、患者満足の一層の向上を図る。

5 老朽・狭隘施設への対策

○附属病院のさらなる充実を目指し、(仮称)中央手術棟の工程通りの完成と円滑な運営を推進するとともに、新外来棟への早期改築を立案し、早期着工への道筋を示す。また、老朽かつ狭隘な診療関連施設(臨床医学研究棟・臨床研修センター等)の早期改築を行う。

1. 附属病院の概要

(平成25年4月1日現在)

項目	内容
病床数	978床(一般病床 861床、感染病床 9床、精神病床 108床)
診療部	22診療科
中央部門	10部、14センター、4室
その他の組織	薬剤部、看護部、栄養管理部、臨床研修センター、医療技術センター
病院機能	特定機能病院、災害拠点病院(基幹災害医療センター)、高度救命救急センター、第一種・第二種感染症指定医療機関、基幹型臨床研修病院、特定承認保健医療機関(高度先進医療)、エイズ中核拠点病院、精神科救急医療施設、都道府県がん診療連携拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センター

附属病院の主要指標

患者数の推移

(単位:千人)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24
患者数	740.6	738.6	763.9	771.5	794.0	794.3
うち入院患者数	283.9	260.5	280.6	275.9	277.4	273.9
うち外来患者数	456.7	478.1	483.3	495.6	516.6	520.4

※H24は1月までの実績を基にした年間推計値である

病床稼働率・平均在院日数の推移

	H19	H20	H21	H22	H23	H24
平均運用病床数	818	755	840	870	881	884
病床稼働率(対運用病床)	94.4%	94.6%	91.7%	86.9%	86.1%	84.9%
平均在院日数	16.6	15.5	15.4	14.5	13.6	13.0

※H24は2月までの実績値である

※H19～H20については看護師不足により運用病床数が減少、またH22は手厚い看護体制の導入により病床稼働率が減少した

新入院患者数の推移

(単位:人)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24
年間新入院患者数	12,510	11,948	13,312	13,949	14,922	15,093

※H24は2月までの実績を基にした年間推計値である

外来患者数

(単位:人)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24
1日当たりの平均外来患者数	1,862	1,965	1,995	2,055	2,119	2,124

※H24は2月までの実績値である

ICU・CCU・SCU患者数

(単位:件)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24
年間件数	3,612	3,324	3,489	3,380	3,917	4,169

※H24は2月までの実績を基にした年間推計値である

周産期センター患者数及び分娩件数

(単位:人)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24
NICU(GCU含む)	6,702	7,313	7,770	7,518	8,753	8,804
MFICU(PICU)	768	1,007	1,522	1,503	1,255	1,346
分娩件数	679	723	823	746	895	909
正常分娩	196	191	195	191	284	279
異常分娩・帝王切開	483	532	628	555	611	630

※H24は2月までの実績を基にした年間推計値である

※H20.5に総合周産期母子医療センター(母体・胎児集中治療部門、新生児集中治療部門)を設置

先進医療への届出件数

(単位:件)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24
当該年度の届出件数	2	4	1	1	3	2
届出件数累計	5	7	8	6	8	6

※H20は先進医療から保険適用替えが2件、H22は適用替えが2件、取り下げが1件、H23は取り下げが1件、H24は適用替えが4件ある。

医薬・診療材料比率の推移

	H19	H20	H21	H22	H23	H24
医薬材料費比率	46.0%	45.6%	45.3%	42.7%	43.1%	42.6%
うち医薬品費比率	33.0%	32.3%	33.0%	31.3%	31.6%	31.2%
うち診療材料費比率	13.0%	13.3%	12.3%	11.4%	11.5%	11.4%

※H24は1月までの実績を基にした年間推計値である

1. 医師・看護師等の離職防止と人材確保

平成25年度 年度計画

- (1) 仕事と生活が両立できる働きやすい職場環境の構築のためワークライフバランス検討委員会を設置する。
- (2) ワークライフバランスの推進や女性医師・看護師の確保のための対策を検討しメニュー(短時間正規労働制度の導入など就業規則の見直し等)を作成する。
- (3) 子育て支援の拡充のため学内保育園の定員増を図る。

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 中期計画調査検討事業 (再掲)	中期目標に掲げられた下記センター等の設立準備経費 ワークライフバランス検討委員会	10,000
保育所の運営	保育士の人件費、光熱水費や給食業務の委託など「なかよし保育園」の運営にかかる経費 (うち保育料等収入 24,200千円)	57,300
臨床研修医関連経費	臨床研修プログラムの充実、指導医向け講習会の開催、臨床研修医の確保のための情報提供など、臨床研修関連経費	8,389
臨床研修に係る負担金	協力型病院への臨床研修費国庫補助金の配分及び他院研修医の当院への受入にかかる給与等負担金	20,811
女性研究者研究活動支援事業 (再掲)	女性研究者が研究を継続・発展させ、キャリアアップを図ることができる環境整備を実施(女性研究者支援センターの運営費)	31,100
看護師確保事業(再掲)	メールマガジンやポータルサイトの活用など情報発信を充実させるとともに、現場若手看護師の力を活用した学校訪問、附属病院説明会・見学会の開催、合同就職説明会への出展などを実施	9,000
新規採用看護師宿舎確保事業 (再掲)	新規採用者を対象に、敷地外に法人がワンルームマンションを借り上げ、看護師専用宿舎を確保	26,000
(新) 看護師就職支度金貸与事業 (再掲)	附属病院への就職が内定している看護師に対し、就職準備や自己研鑽等に必要な経費を貸与(一定期間勤務により返還免除) (※平成24年度執行対応)	105,000
看護師研修の実施(再掲)	専門的な看護能力向上のため、認定看護管理者、認定看護師教育課程への派遣、先進病院への派遣などを実施	14,800
看護師宿舎の改修(再掲)	改修により旧看護師宿舎を有効活用し、スキルスラボや関連施設などを整備	115,000
医療技術職研修の実施	医療技術職の知識向上のため、各種研修や学会などへ派遣	4,300
診療報酬請求強化職員研修の実施	診療報酬請求の精度向上のための、診療報酬関連各種講習受講に係る経費(診療報酬請求強化事業・入院レセ係強化事業の研修費)	2,300

2. がん拠点病院としての機能の充実

平成25年度 年度計画

- (1)・がん診療に関する施設・機器を整備し充実を図る。
 - ・放射線療法医師、化学療法医師等のがん専門医の育成・確保に努める。
 - ・がん専門医臨床研修事業等、がん医療に携わる人材の養成のための研修を実施する。
 - ・がん診療連携拠点病院間の役割分担と連携を推進し、がん診療提供環境の整備、充実を図る。
 - ・がん相談専門員研修を受講させるなど、相談員のがん相談スキルを向上させる。
- (2)現在の緩和ケアセンターの更なる充実を行うとともに、本県緩和ケア提供体制の中で、中核的な緩和ケアセンターとしての役割を果たすべく稼働する。(再掲: I-7)
- (3)多職種連携によるチーム医療体制の充実に向けた取組を行う。
- (4)院内がん登録統計をホームページで公表する。

(千円)

事業名	内容	予算額
医療用備品整備	県からの長期借入金等を財源として、高度で先進的な機器など本院の役割にふさわしい医療機器などの充実を図る	1,147,000
(新) (仮称) 中央手術棟関連医療用備品整備	県からの交付金・長期借入金を財源として、(仮称) 中央手術棟第1期竣工に合わせ、リニアック等を購入	1,650,000
都道府県がん診療連携拠点病院関連経費(再掲)	がん診療における県の中心的な役割を果たすため、がん診療連携協議会、がん相談、院内がん登録などの諸事業を実施(がん診療連携拠点病院機能強化事業の内数)	3,428
緩和ケアの充実(再掲)	がん性疼痛緩和推進事業公開講座、在宅緩和ケア地域連携事業研修会、まほろばPEACE緩和ケア研修会などの開催経費及び緩和ケアセンター整備経費	3,072
がん専門医臨床研修事業関連経費(再掲)	若手医師をがん専門医師として育成するための研修を実施	1,500

3. 治療成績の一層の向上

1. 治療成績の一層の向上に向けて

平成25年度 年度計画

- (1) (仮称)診療内容向上委員会を設置・運営する。
- (2) 適正な臨床指標を設定し、運用を行い、公表する。

事業名・講座名	内容	予算額 (千円)
(新) 中期計画調査検討事業 (再掲)	中期目標に掲げられた下記センター等の設立準備経費 (仮称)診療内容向上委員会	10,000

2. 高度で先進的な医療の提供及び提供体制の充実

事業名	内容	予算額 (千円)
(仮称) 中央手術棟整備事業	総事業費:約100億円(予定) 工期:平成22年度～平成27年度 規模:地下1階 地上7階	2,506,600
(新) (仮称) 中央手術棟関連医療用備品整備(再掲)	県からの交付金・長期借入金を財源として、(仮称)中央手術棟第1期竣工に合わせ、リニアック等を購入	1,650,000
医療用備品整備(再掲)	県からの長期借入金等を財源として、高度で先進的な機器など本院の役割にふさわしい医療機器などの充実を図る	1,147,000
医療用機器等保守・修繕費	法令等で保守点検が規定されている機器や患者の生命に関わる機器などの保守点検委託費及び修繕費	400,000
治験センターの運営	臨床治験を積極的に推進するため、治験及び医薬品等製造販売後調査を管理する治験センターの運営経費	56,300

3. 病院運営に必要な経費

事業名	内容	予算額 (千円)
医薬品費	診療に必要な医薬品の購入	9,247,000
診療材料費	診療に必要な診療材料の購入	3,395,000
給食材料費	入院患者給食の材料の購入	183,000

(千円)

事業名	内容	予算額
医事委託費	外来部門の受付や料金計算、診療報酬請求業務などの医事業務の委託及び病棟などのベッドメイキング委託	349,100
病院関連委託費	貸与被服やタオルの洗濯、手術室の清掃、SPD業務、給食業務など、病院業務に関連する各種委託	462,500
臨床検査委託費	臨床検査のうち、当院で分析できないもの、件数が少なくコスト高になるものなどについて外部委託	265,000
在宅用機器賃借料	在宅酸素、人工呼吸器、持続陽圧呼吸療法など、在宅医療用機器の借り上げ料	145,000
病院関連借上費	医療機器・検査機器のリース料や病棟カーテンなど	29,000
総合医療情報システム運営事業 (電子カルテシステム)	電子カルテシステムの維持・管理に係る運用保守委託	211,000
紙カルテ保管管理事業	紙カルテの保管、廃棄等にかかる経費	31,800
災害医療対策事業	災害拠点病院(基幹災害医療センター)としてDMAT(災害派遣医療チーム)の装備等の充実を図るとともに、机上防災訓練を実施	4,500
その他病院運営経費	職員被服費、通信運搬費、日用品・事務用消耗品の購入経費など	111,300
光熱水費・燃料費	病院内の冷暖房や医療用機器の運転などに必要な電気、ガス、水道などの光熱水費・燃料費	532,000
庁舎管理委託費	病院内の清掃や医療機器以外の設備の保守点検、警備など病院庁舎の管理にかかる各種委託	355,500
その他病院管理費	病院施設や設備の修繕費や修繕・管理消耗品の購入経費及び駐車場用地の借地代など	86,000

4. 患者満足の一層の向上

1. 患者満足の向上に向けて

平成25年度 年度計画

- (1) 患者意見を反映するため、ホスピタリティマインド向上委員会を設置、運営する。
- (2) 職員のコミュニケーション研修の体系を検討する。
- (3) 案内サインの整備や老朽箇所の改修を行う。また、案内員の配置等の充実を行い、案内業務の質の向上を図る。

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 中期計画調査検討事業 (再掲)	中期目標に掲げられた下記センター等の設立準備経費 ホスピタルティマインド向上委員会	10,000
新棟整備関連アメニティ整備事業	来院者の快適性を高めるため、病院施設の一部を整備 (25) 通路棟の床、天井、壁の貼り替え、サイン整備など	69,000
患者アメニティ向上事業	患者アメニティの向上を図るため、附属病院正面玄関の屋根・照明改修、BC棟通路・デイルームの床改修	50,000
院内緑化推進事業	院内緑化のための観賞植物の賃借経費 (企業等からの協賛金を財源)	6,000
(新) ニューステロップ配信事業	患者の診察待ち時間の不満解消のため、各外来診察室前の待合でリアルタイムのニュースをテロップとして配信	2,000
フロアマネジメントの充実	患者案内ブースの設置、会計フロントに案内員を配置することにより、フロアマネジメントの充実を図る	27,400
患者満足度調査業務委託	患者に対し当院の評価をアンケート調査し、患者ニーズを把握	500
(新) 相談記録データベース化事業	医療相談の迅速化、効率化を図るため、医療相談記録のデータベースを構築	1,000

2. 医療の安全確保

(千円)

事業名	内容	予算額
医師賠償責任保険	医療の高度化・複雑化に伴い増大している医療事故の発生リスクに対応し、患者への迅速な補償と医療従事者の負担軽減のため医師賠償責任保険に引き続き加入	26,000
産科医療補償制度負担金	脳性麻痺等の出産に対する迅速な補償と出産に関わる医療従事者への訴訟リスクを軽減するため、産科医療補償制度へ引き続き加入	30,000
顧問弁護士契約	医療事故、医療現場のトラブルが発生した初期段階から、法律的な判断及びその対応について、医療争訟専門の弁護士からスムーズな指導及び助言を受けるための経費	600
医療安全推進費	医療安全の確保のため、医療安全に関する教育・研修等の実施	1,000
医療事故調査委員会の運営	医療事故、医療上の重大な問題の調査を行う際に、公平性・中立性を確保するために設置された医療事故調査委員会の学外委員招へいのための経費	500

5. 老朽・狭隘施設への対策

平成25年度 年度計画

- (1) (仮称)中央手術棟のⅠ期工事を完了し、Ⅱ期工事に着手する。
- (2) 教育・研究部門等移転対策検討委員会を県と合同で設置し、移転までおよび移転後の再整備に向けた調査・検討を行うとともに、附属病院整備基本構想を策定する。
- (3) 基本構想を策定するにあたり、附属病院整備責任者を選定し、医大独自で調査・検討を実施するとともに、医大内部の合意形成を図る。
- (4) 上記の附属病院整備基本構想に基づき、老朽・狭隘施設改築の平成26年度基本・実施設計着手に向けた条件整理等を行い、老朽・狭隘施設改築基本計画を策定する。

(千円)

事業名・箇所名	内容	予算額
(仮称)中央手術棟整備事業(再掲)	総事業費:約100億円(予定) 工 期:平成22年度～平成27年度 規 模:地下1階 地上7階	2,506,600
(新)(仮称)中央手術棟関連医療用備品整備(再掲)	県からの交付金・長期借入金を財源として、(仮称)中央手術棟第1期竣工に合わせ、リニアック等を購入	1,650,000
(新)中期計画調査検討事業(再掲)	中期目標に掲げられた下記センター等の設立準備経費 教育・研究部門等移転対策検討委員会	10,000
(新)医科大学・附属病院整備基本構想策定事業(再掲)	新キャンパスマスタープランの見直し業務委託 (大学移転推進事業の一部)	7,000
(新)老朽施設の整備コンストラクション・マネジメント業務	老朽化した診療関連施設の整備における設計前段階の各種業務について、専門家の技術的助言受けるなどマネジメント業務を委託 (大学移転推進事業の一部)	20,000
旧救急棟1階改修	(仮称)中央手術棟整備により移転する腫瘍センター跡地を改修	44,100
A棟地下1階廊下改修	A棟地下1階廊下の美装と清掃業者、クリーニング業者の作業スペースの確保	19,900
A棟3階中央手術部改修	老朽化した手術室の自動扉を改修	11,500
乗用エレベータ改修	A病棟乗用エレベータ、医局棟乗用エレベータをリニューアル	42,000
電気設備改修	蓄電池の交換や非常用発電機の部品交換など	25,000
空調関係機器改修	ブラインチラー、吸収式ポンプの更新	26,000

V まちづくり



まちづくり予算の概要

第2期中期計画 V まちづくり

1 教育・研究部門の円滑な移転と新キャンパス整備

○平成33年中の新キャンパスオープンを目指し、教育・研究機能の充実と地域に貢献できる新たな機能を備えた整備計画を進める。

2 地域に開かれたキャンパスづくり

○新キャンパスの構想計画においては、交流広場や緑地等の地域との交流を図る施設、図書館・食堂・コンビニ・グラウンド等を設置し、県民への開放に努める。

3 教育・研究部門移転後の跡地活用

○現キャンパス跡地においては、憩いの広場、診療関連施設、新外来棟等の整備計画を推進するとともに、医大が進めるMBT構想を踏まえ、県と市のまちづくりのランドデザインに沿った「医療、介護、福祉が連携した健康まちづくり」の整備計画に参画する。

4 移転を契機とした研究分野での地域貢献

○新キャンパスにおいては、(仮称)大和漢方医学薬学センターの設置等、一定規模の産学官連携ゾーンを整備し、県や市と連携しながら、医農商工連携の一層の推進に寄与する。また、他大学との共同大学院構想を策定し、研究部門の強化を図る。

5 健康づくり・予防医療等への貢献

○MBT構想や奈良県健康長寿コホースタディ等について計画・推進し、住民の健康増進に貢献するリビングサイエンスを推進する。(再掲:Ⅲ-3)

1. 教育・研究部門の円滑な移転と新キャンパス整備

平成25年度 年度計画

(1)教育・研究部門等移転対策検討委員会を県と合同で設置し、移転に向けた調査・検討を行うとともに、新キャンパス整備基本構想を策定する。(再掲:Ⅱ-3)

(2)基本構想を策定するにあたり、教育・研究部門移転整備責任者を選定し、医大独自で調査・検討を実施するとともに、医大内部の合意形成を図る。(再掲:Ⅱ-3)

事業名	内容	予算額 (千円)
(新) 中期計画調査検討事業 (再掲)	中期目標に掲げられた下記センター等の設立準備経費 教育・研究部門等移転対策検討委員会	10,000
(新) 医科大学・附属病院整備基本構想策定事業(再掲)	新キャンパスマスタープランの見直し業務委託 (大学移転推進事業の一部)	7,000

2. 地域に開かれたキャンパスづくり

平成25年度 年度計画

- (1) 教育・研究部門等移転対策検討委員会を県と合同で設置し、移転に向けた調査・検討を行うとともに、新キャンパス整備基本構想を策定する。(再掲:Ⅱ-3)
- (2) 基本構想を策定するにあたり、教育・研究部門移転整備責任者を選定し、医大独自で調査・検討を実施するとともに、医大内部の合意形成を図る。(再掲:Ⅱ-3)

		(千円)
事業名	内容	予算額
(新) 中期計画調査検討事業 (再掲)	中期目標に掲げられた下記センター等の設立準備経費 教育・研究部門等移転対策検討委員会	10,000
(新) 医科大学・附属病院整備基本構想策定事業(再掲)	新キャンパスマスタープランの見直し業務委託 (大学移転推進事業の一部)	7,000

3. 教育・研究部門等移転後の跡地活用

平成25年度 年度計画

- (1) 教育・研究部門等移転対策検討委員会を県と合同で設置し、移転までおよび移転後の再整備に向けた調査・検討を行うとともに、附属病院整備基本構想を策定する。(再掲:Ⅳ-5)
- (2) 基本構想を策定するにあたり、附属病院整備責任者を選定し、医大独自で調査・検討を実施するとともに、医大内部の合意形成を図る。(再掲:Ⅳ-5)
- (3) 上記の附属病院整備基本構想に基づき、老朽・狭隘施設改築の平成26年度基本・実施設計着手に向けた条件整理等を行い、老朽・狭隘施設改築基本計画を策定する。(再掲:Ⅳ-5)

		(千円)
事業名	内容	予算額
(新) 中期計画調査検討事業 (再掲)	中期目標に掲げられた下記センター等の設立準備経費 教育・研究部門等移転対策検討委員会	10,000
(新) 医科大学・附属病院整備基本構想策定事業(再掲)	新キャンパスマスタープランの見直し業務委託 (大学移転推進事業の一部)	7,000
(新) 老朽施設の整備コンストラクション・マネジメント業務	老朽化した診療関連施設の整備における設計前段階の各種業務について、専門家の技術的助言受けるなどマネジメント業務を委託 (大学移転推進事業の一部)	20,000

4. 移転を契機とした研究分野での地域貢献

平成25年度 年度計画

- (1) (仮称) 研究推進戦略本部を設置し、研究活動に係る基本方針を策定する。(再掲: I-3)
- (2) (仮称) 研究推進戦略本部での検討結果を踏まえ、研究に関する第三者評価を行うための評価委員会を設置する。(再掲: I-3)
- (3) (仮称) 研究推進戦略本部での検討結果を踏まえ、(仮称) 大和漢方医学薬学センターを設置する。(再掲: I-3)
- (4) (仮称) 研究推進戦略本部での検討結果を踏まえ、リビングサイエンスについての方向性・実効性等を検討する。(再掲: I-3)

(千円)

事業名・講座名	内容	予算額
(新) 中期計画調査検討事業 (再掲)	中期目標に掲げられた下記センター等の設立準備経費 (仮称) 大和漢方医学薬学センター 研究に関する第三者評価を行うための評価委員会	10,000
(新) スポーツ医学講座(再掲)	スポーツ障害における病態の解明、有用な治療法の開発	20,000
住居医学講座(再掲)	～住まいを医学する～をキャッチフレーズに、生活習慣病予防のため、「衣食住」のうち「住」について医学的にアプローチ	30,000

5. 健康づくり・予防医療等への貢献

平成25年度 年度計画

- (1) (仮称) 研究推進戦略本部を設置し、研究活動に係る基本方針を策定する。(再掲: I-3)
- (2) (仮称) 研究推進戦略本部での検討結果を踏まえ、研究に関する第三者評価を行うための評価委員会を設置する。(再掲: I-3)
- (3) (仮称) 研究推進戦略本部での検討結果を踏まえ、医大を中心としたまちづくり構想と連携・調整を図りながら、既に提案されている「MBT構想」、「健康長寿コホート研究」等の方向性・実効性等について検討する。(再掲: I-4)

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 中期計画調査検討事業 (再掲)	中期目標に掲げられた下記センター等の設立準備経費 研究に関する第三者評価を行うための評価委員会	10,000

VI 法人運營



法人運営予算の概要

第2期中期計画 VI 法人運営

1 ガバナンス体制の充実強化

○中期目標・中期計画を始めとし、法人の運営方針や規範等の情報について全教職員が共有し、一丸となって業務に取り組む。また、広報体制を充実し、様々な広報媒体を活用して、法人の取り組みを積極的に発信する。

2 ワークライフバランスの充実強化

○医師・看護師等の適正な増員と配置及び短時間正規労働制度の導入によるワークライフバランスの改善等により、仕事と生活が両立できる働きやすい職場環境の構築を図る。

3 同窓会・歴代卒業生との連携

○同窓会や卒業生との連携・交流を強化し、母校愛の育成と協力意識の向上を図るとともに、大学移転を踏まえた教育・研究環境の整備・充実のため、広く寄附を募る。

4 繰越欠損金の解消

○県からの運営費交付金を確保しつつ、効率的・効果的な大学・病院経営を行い、第2期中期目標期間において繰越欠損金の解消に努める。

1. ガバナンス体制の充実強化

1. ガバナンス体制の充実強化

平成25年度 年度計画

- (1) 中期目標・中期計画を全教職員に周知するためのツール及び行動規範を作成し、アンケートの実施、説明会の開催や研修会等の機会を捉え周知を図る。
- (2) 中期目標・中期計画、その他法人の取組みを県民にわかりやすく発信(ホームページ、県政だよりなどの活用)するとともに、中期目標・中期計画の進捗状況を中長期計画推進委員会でチェックを行い着実に実施する。
- (3) 採用方法等の検討を行い有用な職員の確保に努めるとともに、職員の資質向上のために職位や経験等に応じた研修を実施する。

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 広報事業費	パンフレットを作成するなど中期目標・中期計画、その他法人の取組みを県民にわかりやすく発信	4,300
(新) 中期計画実行支援事業 (計画の周知)	第1期中期計画の実績集の作成及び中期目標、中期計画、年度計画ハンドブックの作成、職員向け説明会の開催など	700
広報誌などの作成	学報、大学概要、大学案内の作成など、法人の情報を発信する各種広報誌を作成 (法人運営事業・その他医学科入試関係諸費の内数)	
大学ホームページの運営	大学の教育研究活動等の積極的公開を図るため、本学ホームページサーバの運用に必要な経費 (情報システム運営事業の内数)	
職員採用事業	法人職員の募集、採用試験の実施に必要な経費	3,200
看護師確保事業(再掲)	メールマガジンやポータルサイトの活用など情報発信を充実させるとともに、現場若手看護師の力を活用した学校訪問、附属病院説明会・見学会の開催、合同就職説明会への出展などを実施	9,000
新規採用看護師宿舍確保事業 (再掲)	新規採用者を対象に、敷地外に法人がワンルームマンションを借り上げ、看護師専用宿舍を確保	26,000
(新) 看護師就職支度金貸与事業 (再掲)	附属病院への就職が内定している看護師に対し、就職準備や自己研鑽等に必要経費を貸与(一定期間勤務により返還免除) (※平成24年度執行対応)	105,000
人事給与システムの整備	人事情報の管理や給与計算などを行うシステムを整備	28,000
健康管理事業	健康診断、予防接種など学生及び教職員の健康管理の実施や労働安全衛生管理体制の構築	23,000
共済組合補助事業	教職員が受診する人間ドック事業に対する助成	3,000
SD研修事業	階層別研修、業務スキル研修、一般スキル研修、全体研修などを実施し、職員の業務遂行に必要な知識、能力を向上	3,300
看護師研修の実施(再掲)	専門的な看護能力向上のため、認定看護管理者、認定看護師教育課程への派遣、先進病院への派遣などを実施	14,800
看護師宿舍の改修(再掲)	改修により旧看護師宿舍を有効活用し、スキルスラボや関連施設などを整備	115,000
医療技術職研修の実施(再掲)	医療技術職の知識向上のため、各種研修や学会などへ派遣	4,300
診療報酬請求強化職員研修の実施(再掲)	診療報酬請求の精度向上のための、診療報酬関連各種講習受講に係る経費(診療報酬請求強化事業・入院レセ係強化事業の研修費)	2,300
(新) リスクマネジメント実施事業	基本マニュアルを作成し、法人の総合的なリスクマネジメントの実施に寄与	100
(新) (仮称) 長期ビジョン策定事業	法人の今後十数年を見通した長期ビジョンと財務見通しを策定	300

2. 法人の円滑な運営

(千円)

事業名	内容	予算額
(新) 大学機関別認証評価受審事業	学校教育法で7年ごとの受審が義務づけられている大学機関別認証評価を受審	5,500
情報システムの運営・整備	学内ネットワークの運営管理及び老朽化した基幹ネットワーク機器の更新、情報セキュリティ強化のためのシステム導入等	23,500
監査法人報酬	地方独立行政法人法第35条の規定に基づき、会計監査人と契約し、会計監査を実施	10,000
長期借入金償還金	法人化後の施設整備や医療用備品の購入に当たって、県から借り入れた長期借入金の償還金	695,400
短期借入金利息	法人の資金不足に対応するために金融機関から借り入れる単年度運転資金に対する償還利息	700
光熱水費・燃料費	大学(一般管理部門含む)の冷暖房などに必要な電気、ガス、水道などの光熱水費・燃料費	185,300
庁舎管理委託費	清掃や設備の保守点検、警備など大学(一般管理部門含む)の施設の管理にかかる各種委託	112,100
事務局等その他管理費	大学(一般管理部門含む)の施設や設備の修繕費や修繕・管理消耗品の購入経費など	36,300
火災保険関係費	法人の財産などを守るため、企業財産包括保険、自動車保険、運送保険、賠償責任保険などの損害保険に加入	4,500
公用車の更新	老朽化した事務局公用車について計画的に更新(25)2台更新	5,000
大学本部棟玄関及びロータリー改修	老朽化した大学本部棟玄関及びロータリー周りを改修	5,000
大学本部棟執務室改修	大学本部棟2階及び3階の執務室の環境改善を実施	12,800

2. ワークライフバランスの充実強化

平成25年度 年度計画

- (1) 仕事と生活が両立できる働きやすい職場環境の構築のためワークライフバランス検討委員会を設置し、今後取り組むべき対策メニュー(短時間正規労働制度の導入など就業規則の見直し等)を作成する。(再掲IV-1)
- (2) 勤務環境の改善を図るため、勤務環境や満足度に関するアンケート調査等について検討し、調査を実施する。
- (3) 子育て支援の拡充のため学内保育園の定員増を図る。(再掲:IV-1)

		(千円)
事業名	内容	予算額
(新) 中期計画調査検討事業 (再掲)	中期目標に掲げられた下記センター等の設立準備経費 ワークライフバランス検討委員会	10,000
保育所の運営(再掲)	保育士の人件費、光熱水費や給食業務の委託など「なかよし保育園」の運営にかかる経費 (うち保育料等収入 24,200千円)	57,300

3. 同窓会・歴代卒業生との連携

平成25年度 年度計画

- (1) 医学科同窓会と連携し、卒業生へのアンケート調査を実施するとともに、大学移転に係る寄附金の募集や創立70周年記念事業の実施に向けた企画立案を行う。
- (2) 看護学科同窓会の組織強化に向けた支援を検討する。

4. 繰越欠損金の解消

平成25年度 年度計画

- (1) 法人全体の財務分析・長期収支見通し、附属病院の診療科別収支及びDPC別ベンチマーク等の分析により、経営上の課題を抽出し、改善方策の検討・策定を行う。
- (2) 適切な水準の病床稼働率の確保、平均在院日数の適正化、施設基準の取得・維持等により診療収入の確保を図るとともに、精度向上による診療報酬請求の一層の適正化、債権の適正な管理による未収金の抑制を図る。
- (3) 価格交渉や安価な代替品への切替等により、医薬・診療材料費を抑制し、医薬・診療材料費比率の逡減を図る。
- (4) 経営上適正な投資と人件費比率を検討・設定するとともに、資金投入と人員配置による経費増と収入増を踏まえた中長期的な計画を策定し、検証を行う。

		(千円)
事業名	内容	予算額
(新) (仮称) 長期ビジョン策定事業(再掲)	法人の今後十数年を見通した長期ビジョンと財務見通しを策定	300
病院経営分析事業	症例ごとの診療行為分析に基づく診療プロセスの最適化及び包括/出来高分析による医療資源削減検討等の実施	6,000
レセプト院内審査支援システム事業	レセプトチェックの機械化により業務の適正化、効率化を図り、診療報酬請求の精度向上に取り組む (新)レセプト院内審査支援システム歯科分	4,200
診療報酬請求強化関係諸費	レセプトの保留や返戻、減点を減少させるための、詳細な資料等の購入経費(診療報酬請求強化事業・入院レセ係強化事業の諸費)	1,300
未収金対策事業	回収が困難となっている病院医療費の患者未収金の回収を図るため、債権回収会社への委託や法的措置等を実施	5,500